

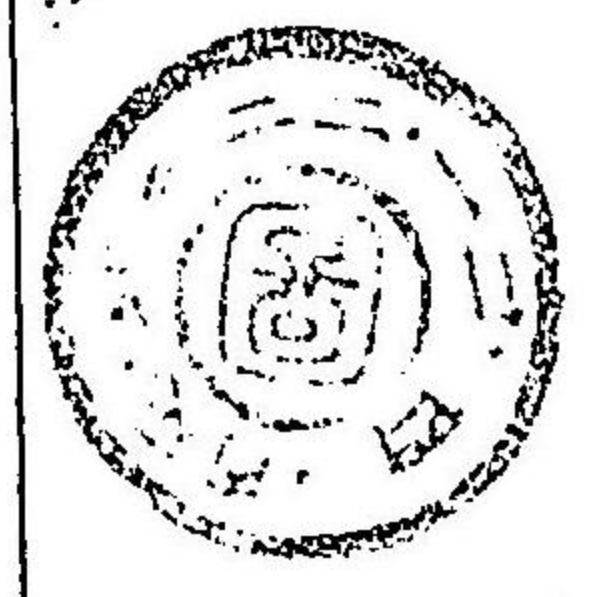
CZ
1113
17-01

明治二十二年十月分

法令類纂

第十號

宮城縣庶務課



CZ
1113
17-01
特 30
201
No 23464

一本書ハ毎月初其前月中與羽日々新聞紙官報縣報欄内ニ掲載シタル諸法令ヲ編纂スルモノトス
但告示諸達中一時ニ止マリ後來ノ参照ヲ要セサルモノハ其要領ヲ目錄欄内ニ摘記シ圈點ヲ
冠シテ之ヲ區分シ別ニ全文ヲ掲載セス

一本書ハ從來例規目錄ニ從テ類目編纂セシト雖モ時日甚タ遷延ニ涉ルノ恐レアルヲ以テ唯タ其
目錄ニ類別シ其下ニ丁數ヲ付シ本文參照ノ便ニ供ス
二同指令照會通知并ニ報告類ト雖モ必要ト認ムルモノハ亦タ其部類中ニ併セ録シテ以テ參考ニ



○法令類纂目錄 明治廿二年
一月廿分

皇室	宮內省達 第十七號	廿九日	天皇旗皇后旗皇太子旗親王旗制定	二 丁
	全十八號	全日	明治四年九月布告ノ旗章ハ天皇旗ニ改メ全十年七月宮 内省布達ノ旗章ハ皇后旗ニ改ム	三 丁
	全七號	二十日	聖上皇后兩陛下京都へ行幸行啓仰出サル	
	全八號	二十日	行幸行啓御發輦日	
	全九號	二十五日	行幸行啓御延引	
憲法				
國際				
參賀				

本縣告示一十八日 天長節參賀

門規門鑑

爵位勳等

勅百八號一十月廿一年勅令第七十八號勳章佩用式第一條二但書追加 二十一丁

關省官制官規

勅百九號一十月一日 師團司令部條例職官表旅團司令部條例及衛戍條例監獄職官表中改正 廿二丁

府縣官制官規

郡市町村制

官吏雜規

帝國議會

勅百十二號一十月十二日 臨時帝國議會事務局設置 四十九丁

府縣會

本縣告示一廿六日 臨時縣會開會 七十八丁

區町村會

布令

諸願建白

印章

農商務省告示 第九號	二十 日月	東京農林學校校則中改正削除	
勅令 第一百十號	三十 日月	東京農林學校及駒場農學校卒業生任用ノ件	廿三丁
文部省告示 第十九號	九 日月	石川縣石川縣農學校ヲ中學校學科程度ト全等以上ト認ム	四十九丁
閣令 第六號	十二 日月	文部大臣ノ認可ヲ經タル私立學校ノ卒業證書ヲ有スル者任用方	五十丁
文部省訓令 第四號	廿五 日月	尋常師範學校生徒中不都合ノ行為アルヲ以テ退學ヲ命スルトキハ在學中ノ學資ヲ償還	七十八丁
第七號	廿五 日月	東京師範學校卒業證書有効期	七十八丁
第八號	全	尋常師範學校女生徒ニ課シヘキ學科程度	七十九丁
第八號	全	尋常師範學校生徒募集規則第一條第三項改正	八十二丁
第十號	全	尋常師範學校卒業生服務規則中改正	全
第十一號	全	小學校教員免許規則第一條中改正	八十三丁

國郡市町村	土	地	釋	山	農商務省告示 第十號	十四 日月	東京大林區署開設	
	木	所	遞	林	本縣告示 第十號	十五 日月	宮城大林區署長轉任ニ付諸願伺書等ハ署長心得林務官補高橋信吉宛ニテ差出スヘシ	
					農商務省告示 第十一號	全	栃木大林區署開設	

全 第十二號 廿三日 長野大林區署開設

船 車

鑛 山

縣 第六十六號 十一月 十三年甲第六十八號布達廢止

郵便電信

遞信省告示 第九十八號 九月 遠江國山名郡袋井鐵道停車場電信取扱所ニ於テ公眾ノ通信取扱

全 第八十九號 全 肥前國北高來郡諫早二等電信局外一局設置

勅 令 全 帝國遞信省ト加那太政廳トノ間ニ取結ヒタル郵便爲替規約

遞信省告示 第九十號 全 加那太郵政廳ト締結シタル郵便爲替料

全 第九十二號 四十 肥前國口ノ津郵便局外二局ヲ郵便電信局ト改ム

全 第三號 五十 郵便貯金預所取扱人採用規程中更正

全 第九十三號 全 巴里締結ヲ國郵便聯合條約里斯本追加書第九條乙ニ據リ蒙リ占羅國ト別配郵便ヲ交換

全 第九十四號 全 水液脂肪類見本ヲ交換シ得ル國名中追加

全 第九十六號 七十 上野國南甘樂郡大間口電信局外十六局ヲ各地郵便局ト合併郵便電信局ト改稱

全 第九十八號 七十 攝津國有馬郡湯山郵便局ヲ湯山郵便電信局ト改稱

全 第九十九號 十四 日向國延岡電信局外四局ヲ郵便局ト合併郵便電信局ト改稱

全 第一百號 全 巴里締結里斯本改正万国郵便聯合條約實施細目規則第十七條第一項修正

全 第二百二號 十六 尾張國龜崎鐵道停車場電信取扱所通信取扱時間

全 第二百三號 十八 郵便切手賣下人心得中追加

全 第二百四號 全 本年告示第一百十二號中願書式宛名改正

全 第二百五號 全 大坂及函館電信建築區

全 第二百六號 廿一 土佐國幡多郡宮川郵便局移轉

全 第二百八號 廿四 豊前國京都郡大橋電信局ヲ行車郵便局ト合併大橋郵便電信局ト改稱

全 第二百九號 全 郵便五厘葉書舊各種郵便切手使用禁止

全 第六號 廿九 燈 臺

鐵道	度量衡	農商工	雜業	會社	博覽會
<p>大藏省告示 第七十五號 十九日 置</p> <p>佐賀第七十二國立銀行支店ヲ長崎縣長崎市本下町ニ設</p>					

國稅	牧畜	漁魚採藻	鳥銃獵
<p>法律 第九十八日</p> <p>第廿四號令</p> <p>北海道ノ内酒造稅則ヲ施行セサル地方ニ稅則施行</p>	<p>第廿四號令</p> <p>九月八日</p> <p>諸願事項中末項但書車類檢印ノ下印紙類賣下ノ五字削</p>	<p>第廿四號令</p> <p>九月八日</p> <p>除</p>	<p>第廿四號令</p> <p>九月八日</p> <p>除</p>
<p>第廿四號令</p> <p>九月八日</p> <p>酒造稅則施行細則</p>	<p>第廿四號令</p> <p>九月八日</p> <p>諸願事項中末項但書車類檢印ノ下印紙類賣下ノ五字削</p>	<p>第廿四號令</p> <p>九月八日</p> <p>除</p>	<p>第廿四號令</p> <p>九月八日</p> <p>除</p>
七十七丁	一丁	一丁	一丁

地方稅

本縣訓令十九日 地方稅賦課資料地租額及船車稅額ハ收稅部出張所ヨリ
第七十三號 區町村費 郡役所ニ通知

七十一丁

雜稅

出納

大藏省訓令廿九日 內國稅徵收費所屬物品會計規程

第六十號 出納官吏現金取扱規則

廿三丁

全三號 物品出納規則第廿五條ノ計簿書調製方

廿七丁

勅百十二號 十八年度歲入歲出總決算

四拾丁

大藏省訓令 臨時歲出中土地臺帳調製費科目中更正

五十丁

全七十四號 大坂國庫金出納所八尾出納支所ノ位置變更

俸給旅費

貨紙幣

大藏省告示十六日 紙幣燒棄

警察

本縣告示三十日 巡查駐在所廢設

三丁

訴訟

司法省告示十一日 東京外廿八始審裁判所管内治安裁判所出張所裁判開庭
第十號 期日 德島福島始審裁判所管内治安裁判所出張所裁判開庭期

七十一丁

全十一號 仙臺始審裁判所管内各治安裁判所出張所裁判開庭期

七十五丁

本縣告示十五日 水戸始審裁判所管内治安裁判所裁判開庭期

治罪法

司法省告示廿四日 海軍治罪法中改正

廿丁

銃砲

囚獄

雜類

○縣令第六十四號

明治二十二年九月三十日

本年(六月)縣令第五十一號諸願事項中未項但書車類檢印ノ下印紙類賣下ノ五字ヲ削除ス

○法律

明治二十二年九月廿八日

除北海道ノ内陸米酒造稅則ヲ施行セサル地方ニ之ヲ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム



酒造場一箇所ニ付 金二十圓
酒類造石稅 金二圓
一類一石ニ付 金三圓
二類一石ニ付 金三圓
三類一石ニ付 金四圓

稅則施行ノ細則ハ大藏大臣之ヲ定ム

○遞信省告示第九十號 明治二十二年十月一日

加那太郵政廳トノ間ニ締結シタル郵便爲替規約ニ依リ取扱フ郵便爲替料割合左ノ通之ヲ定ム

米貨二十五弗迄
同 五十弗迄

為替料二十五錢
同 五十錢

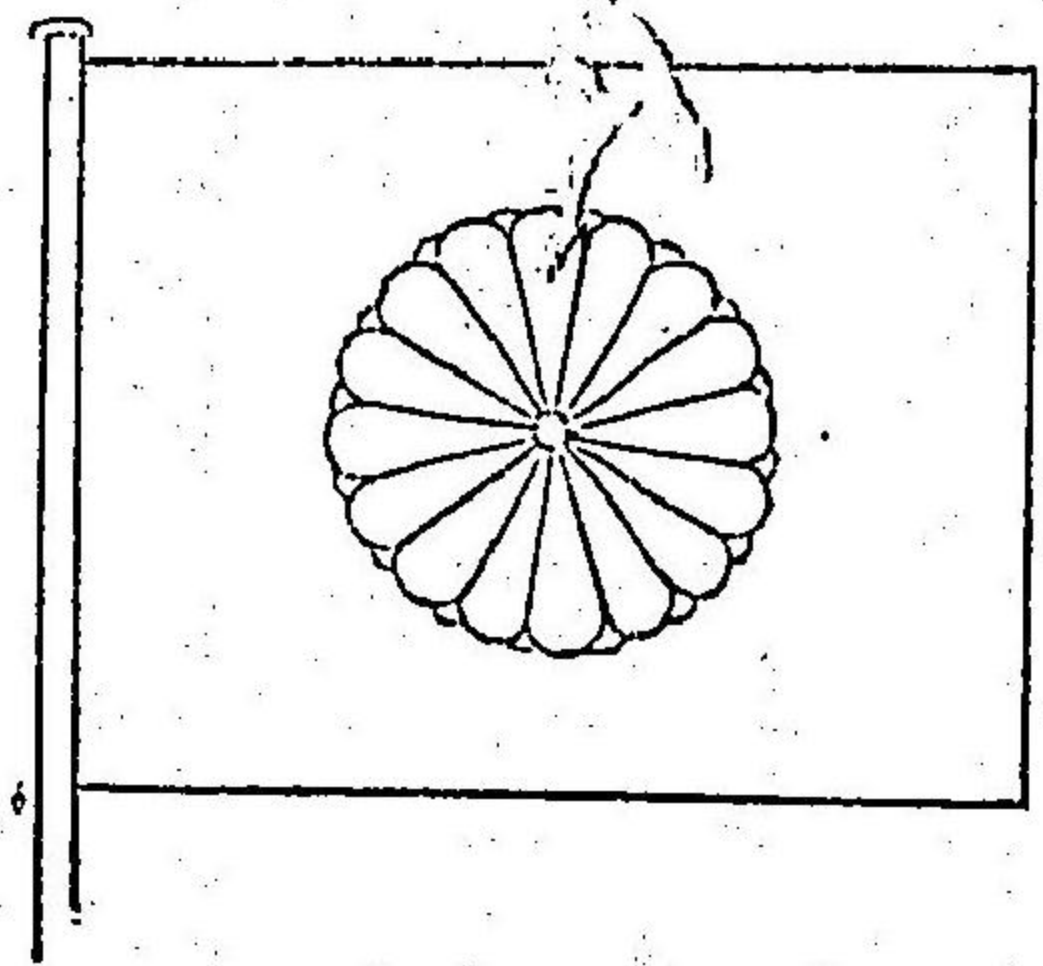
○宮内省達第十七號

明治二十二年九月三十日

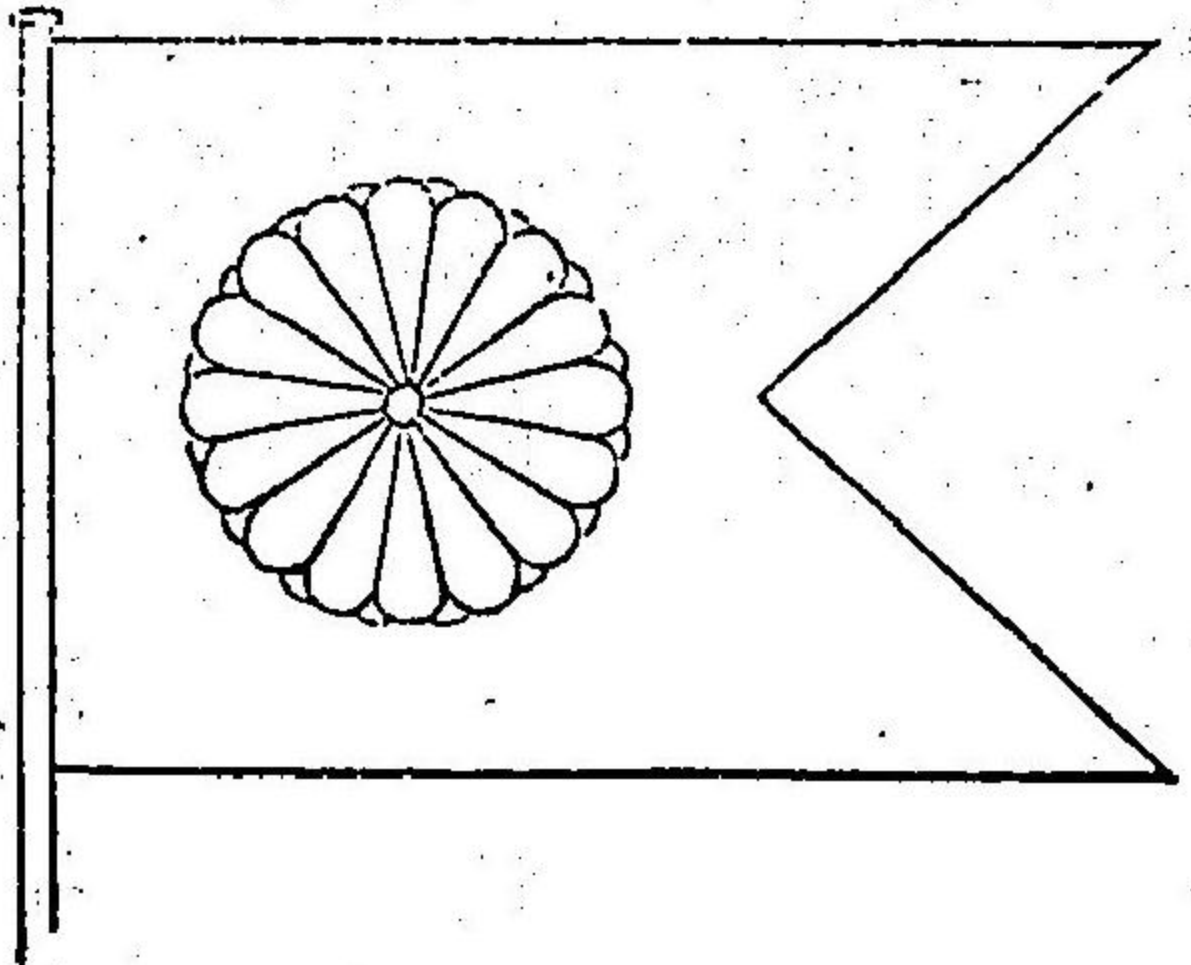
天皇旗皇后旗皇太子旗親王旗左ノ通り制定ス

天皇旗

皇旗 太皇太后 皇太后ノ旗同シ



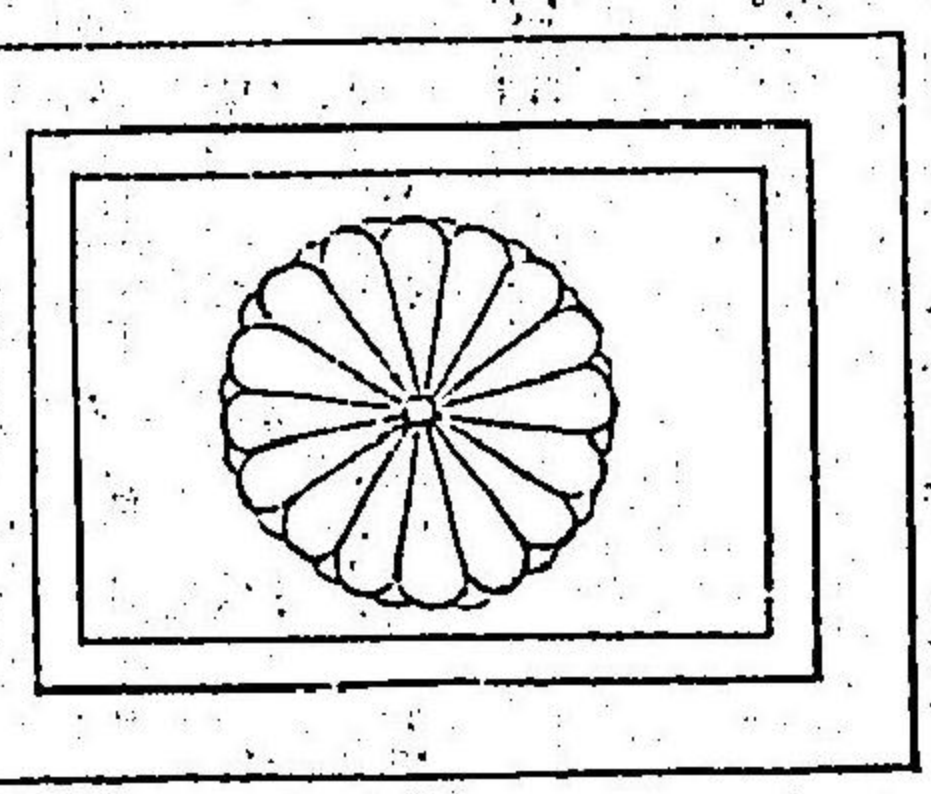
地色 紅
菊章 金
横 一 縦ノ一ト二分
菊心 旗面ノ中心
菊心 縦ノ十九分一
菊全徑 縦ノ六分四



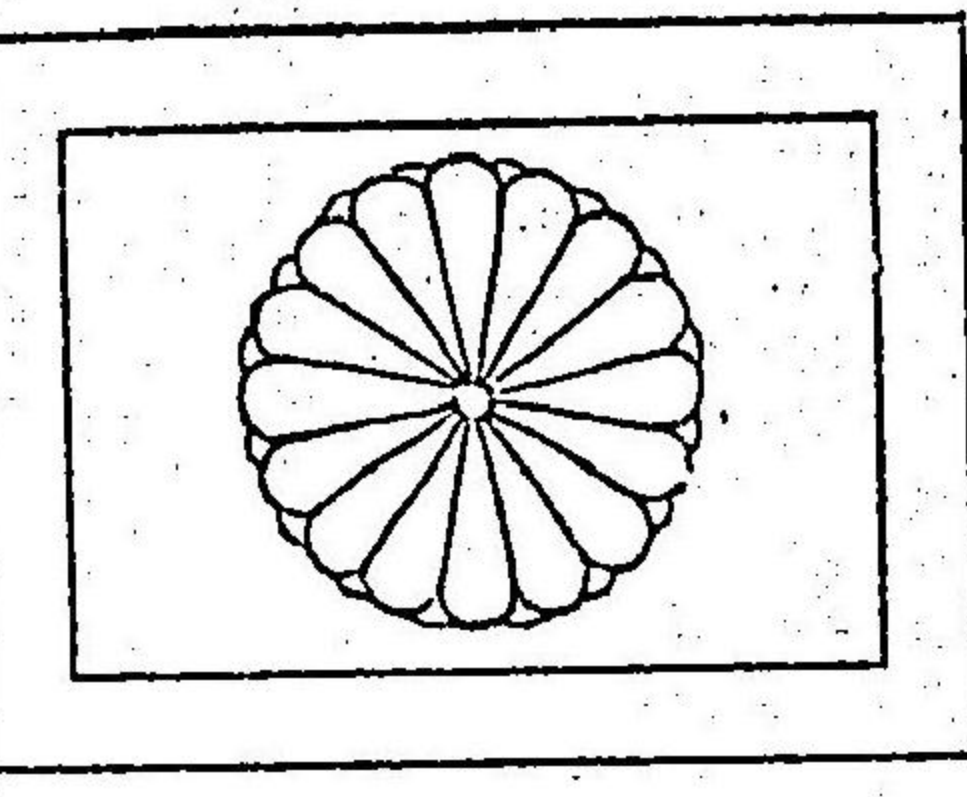
地色 紅
菊章 金
横 三 縦ノ一ト四分
燕尾開裂 横ノ三分一上
下等分
菊心 燕尾ヲ除キ旗
面ノ中心
菊心徑 縦ノ十九分一
菊全徑 縦ノ六分四

皇太子旗 皇太子妃ノ旗亦同シ

親王旗 内親王 親王妃ノ旗亦同シ



地色 紅
菊章 金
縁 白
輪廓 紅
横 一 縦ノ一ト二分
菊心 旗面ノ中心
菊心徑 縦ノ二十六分
菊全徑 縦ノ六分三
白輪廓 縦ノ十五分一
紅縁幅 縦ノ十五分二



地色 白
菊章 金
縁 紅
輪廓 白
横 一 縦ノ一ト二分
菊心 旗面ノ中心
菊心徑 縦ノ二十六分
菊全徑 縦ノ六分三
紅縁幅 縦ノ十五分二

○宮内省達第十八號

明治二十二年九月三十日

明治四年九月十五日布告中ノ旗章ハ天皇旗ニ改メ明治十年七月六日當省布達中ノ旗章ハ皇后旗ニ改ム

○宮城縣告示第四十八號

明治二十二年十月三日

巡查駐在所ヲ廢設スルコト左ノ如シ

新 設

廢 止

宮城郡

鹽釜町ノ内門前

岩切村ノ内堰ノ口
 七北田村ノ内上谷刈
 原町ノ内尙小田原
 黒川郡
 粕川村ノ内粕川
 鶴巢村ノ内大崎
 名取郡
 西多賀村ノ内富澤
 下増田村ノ内下増田
 中田村ノ内四郎丸
 茂ヶ崎村ノ内郡山
 千貫村ノ内南長谷
 亘理郡
 逢隈村ノ内上郡
 柴田郡
 川崎村ノ内川崎
 伊具郡

高砂村ノ内岡田
 泉嶽村ノ内實澤
 原町ノ内苦竹
 鶴巢村ノ内下草
 西多賀村ノ内大野田
 岩沼町ノ内南中町
 増田村ノ内下余田

耕野村ノ内白五郎
 小齋村ノ内麓
 丸森村ノ内臺
 刈田郡
 ☆平村ノ内中ノ目
 牡鹿郡
 郷ノ波町ノ内根岸本郷
 石巻町ノ内大街道
 萩ノ濱村ノ内桃ノ浦
 鮎川村ノ内鮎川
 桃生郡
 大川村ノ内釜谷
 十五濱村ノ内小野崎
 宮戸村ノ内宮戸
 本吉郡
 御岳村ノ内馬籠
 遠田郡

館矢間村ノ内小田
 丸森村ノ内細内
 石巻町ノ内後町
 石巻町ノ内仲町
 萩ノ濱村ノ内侍濱
 大原村ノ内寄磯
 大川村ノ内横川
 小野村ノ内牛綱

- 富永村ノ内富澤
- 富永村ノ内馬放
- 志田郡
- 敷玉村ノ内楡木
- 敷玉村ノ内靑生
- 志田村ノ内保柳
- 志田村ノ内澁井
- 飯川
- 松山村ノ内金谷
- 加美郡
- 玉造郡
- 小野田村ノ内下ノ目
- 大崎村ノ内大崎
- 清水
- 二軒茶屋
- 栗原郡
- 鳥谷崎村ノ内駒崎
- 有賀村ノ内有賀
- 宮澤村ノ内嵯峨
- 津久毛村ノ内小迫
- 一ノ迫村ノ内柳ノ目
- 宮澤村ノ内宮澤

○勅令

明治二十二年九月二十八日

朕帝國遞信省ト加那太郵政廳トノ間ニ郵便爲替規約ヲ締結セシメタルニ依リ茲ニ之ヲ公布セシ

御名 御璽

日本帝國遞信省ト加那太郵政廳トノ間ニ取結ヒタル郵便爲替規約

第一條 日本帝國ト加那太國トノ間ニ郵便ヲ以テ爲替ヲ執行スヘシ

第二條 爲替金ハ雙方共加那太貨幣ヲ以テ記載スヘシ但兩國ノ間貨幣ノ相場ニ時々昇降アルカ爲メニ日本遞信省ハ適當ノ割合ヲ以テ爲替金ヲ引直スヘキコトヲ茲ニ約束ス即チ加那太ハ爲

替ヲ取組ム爲メ日本遞信省ニ於テ受領シタル金額ハ爲替ヲ振出ス時ノ相場ヲ以テ加那太貨幣

ニ引直シ又日本ニテ拂渡ス爲メ加那太ヨリ振出シタル爲替ノ金額ハ日本遞信省ニ於テ爲替目

録ノ到達シタル日ノ相場ヲ以テ日本貨幣ニ引直スヘシ

第三條 爲替一口ノ金額ハ雙方共五十弗ヲ超過スヘカラス

第四條 一仙未滿ノ端數金額ハ爲替トナスヘカラス

第五條 爲替金額ハ差出人ヨリ拂込ミ並受取人ニ拂渡シ共金貨又ハ金貨ト同様ノ價アル他ノ

通貨タルヘシ

若シ兩國ノ一ニ於テ金貨ヨリ低價ナル紙幣ヲ通貨トシテ使用スルトキハ該國ノ郵政廳ハ其紙

幣ヲ以テ人民ト爲替ノ受拂チナスコトヲ得但相場ノ差異ニ隨テ計算ヲナスヘシ

第六條 日本遞信省並ニ加那太郵政廳ハ雙方共其振出ス爲替手数料ノ割合ヲ時々更定スルノ權

ヲ有ス此手数料ハ振出局ノ収入トス但日本遞信省ハ日本ヨリ振出シ加那太ニ於テ拂渡スヘキ

爲替金總額ノ千分ノ五ノ歩合金ヲ加那太郵政廳へ拂ヒ加那太郵政廳ハ加那太ヨリ振出し日本ニ於テ拂渡スヘキ爲替金總額ヨリ前同様ノ歩合金ヲ日本遞信省へ拂フヘシ

第七條 爲替ハ差出人及ヒ受取人ノ氏名住所又差出人若クハ受取人會社組合ナレハ其名號及ヒ住所ヲ差出人ヨリ申立ツルニ非レハ之ヲ振出サ、ルヘシ但差出人若クハ受取人ノ名稱ヲ差出人ヨリ一層詳細ニ陳述セル場合ニ於テハ其陳述スル通りヲ爲替目錄ニ記載スヘシ

第八條 兩國間郵便爲替ノ事務ハ總テ交換局ヲ經テ之ヲ取扱フヘシ日本ニ於テハ東京ヲ以テ交換局ト定メ加那太ニ於テハ英領「コロンビア」州「グヰットリア」ヲ以テ交換局ト定ムヘシ

第九條 加那太ヨリ日本へ振出しタル爲替ノ要件ハ「グヰットリア」交換局ニ於テ附録甲號離形ニ因テ調製セシ目錄ニ記入シ且ツ其金額ハ一々加那太貨幣ニテ之ヲ登記シ「グヰットリア」ノ日付印ヲ押シ東京遞信省(外信局)へ遞送スヘシ該局ハ之ニ日付印ヲ押シ拂渡ノ手續ヲナスヘシ

日本ヨリ加那太へ振出しタル爲替ノ要件モ前同様ノ手續ヲ以テ東京遞信省(外信局)ニ於テ附録乙號離形ニ因テ調製シタル目錄へ記入シ且ツ其金額ハ一々兩國ノ貨幣ニテ之ヲ登記シ其局ノ日付印ヲ押シ「グヰットリア」交換局へ遞送スヘシ該局ハ之ニ日付印ヲ押シ拂渡ノ手續ヲナスヘシ

ニ於テ引直シタル割合ニ依リ日本貨幣ヲ以テ爲替金額ヲ一々記入スヘシ
目錄及ヒ目錄中記載ノ件々ハ差立ノ順序ニ從ヒ永久番號ヲ付シ且ツ甲國ノ目錄乙國ニ達スル

トキハ乙國ハ其後初メテ遞送スヘキ目錄中ニ甲國ノ目錄領収ノ旨ヲ記載スヘシ
前記目錄ハ兩國互ニ報知スヘキ爲替アル時ノミニ限り送付スヘシ且ツ目錄ノ紛失等ヨリ不都合ノ生セサル爲メ兩國互ニ次便ヲ以テ前便遞送セシ目錄ノ副書ヲ送致スヘシ

毎年六月三十日ニ終ル一期間(一期間トハ一年ヲ三箇月ツ、四期ニ分タル其一ヲ指ス以下同之)加那太ニ於テ振出し六月三十日後ニ至リ「グヰットリア」交換局へ到達セル爲替ハ六月中最後ニ遞送スヘキ目錄ノ補缺目錄ニ記入スヘシ又同期間日本ニ於テ振出し六月三十日後ニ至

リ東京交換局ニ到達セル爲替モ同様六月中最後ニ遞送スヘキ目錄ノ補缺目錄ニ記入スヘシ
第十條 差立局ノ目錄受取交換局へ到達次第該局ニ於テ目錄ニ照シ受取人へ宛内國爲替ヲ振出シ内國爲替規則ニ隨ヒ之ヲ無税ニテ受取人或ハ拂渡局へ配達スヘシ

目錄中受取交換局ニ於テ改正シ難キ誤謬アルトキハ差立局へ照會シ其説明ヲ請フヘシ差立局ハ可成丈ク速ニ之ニ應スヘシ尤モ右誤謬アル爲替ハ其照會中内國拂渡爲替ノ振出ヲ停止スヘシ

爲替目錄ハ一通ツ、受取交換局ヨリ差立交換局へ返還スヘシ尤モ其返還前受取交換局ニ於テ目錄ニ記載ノ爲替拂渡局ノ名ヲ記入スヘシ且ツ日本ヨリ返還スル加那太目錄ハ日本遞信省第十一條 甲國ヨリ乙國ニ向ケ振出しタル爲替ノ拂渡方ハ都テ拂渡國ノ内國爲替規則ニ隨ヒ取扱フヘシ

拂濟證書ハ雙方共其金額ヲ拂渡シタル國ニ保存スヘシ

第十二條 爲替受取人若クハ差出人ノ氏名ニ誤謬アリテ其改正ヲ要シ或ハ差出人ニ於テ爲替金ノ拂戻ヲ請願セントスルトキハ差出人ヨリ其爲替ヲ振出セシ國ノ郵政廳ヘ申立ツヘシ
 再度ノ爲替ハ初度ノ爲替振宛局ノ郵政廳ニ限リ之ヲ振出シ其手續ハ都テ其國ニ於テ既ニ制定シ又ハ新ニ制定スヘキ規則ニ隨フヘシ

第十三條 爲替ハ初度ノ振出シト再度ノ振出シトヲ論セス拂渡國ニ於テ未タ其爲替金ヲ拂渡サス且ツ拂渡サ、ル旨ヲ拂渡國ノ郵政廳ヨリ通知アリテ其旨ヲ證明シタル後ニ非レハ振出國ニ於テ之ヲ差出人ニ拂戻サ、ルヘシ

第十四條 爲替ハ振出シタル月ヨリ十二箇月間ニ受取ヲサレハ其効用ヲ失ヒ其金額ハ振出國ニ屬シ其處分ニ任スヘシ故ニ日本遞信省ハ加那太ヨリ受取タル目錄中ノ爲替ニテ右ニ定メタル期限内拂渡サ、ルモノハ加那太ノ貸金トシテ每一期間ノ計算書中ニ記入スヘシ
 又加那太郵政廳ハ日本遞信省每一期間計算書ニ記載ノ爲メ該局ヨリ到達セル目錄中爲替金ノ本條ニ因リ効用ヲ失ヒタルモノヲ記載セタル明細書ヲ毎月末遞送スヘシ

第十五條 每一期間ノ末ニ於テ日本遞信省ハ該期中兩國ヨリ振出シタル爲替ノ詳細ヲ記スル各目錄ノ總額及ヒ右ヨリ生スル差引殘額ヲ示ス所ノ計算書ヲ調製スヘシ
 右計算書二通ヲ在、オツタワ、府加那太郵政廳ヘ送達シ其差引殘額ハ證明ノ上日本遞信省借方トナルトキハ計算書ヲ送付スルト同時ニ「ニウヨル」ヘ宛加那太貨幣ヲ以テ任拂チナシ又加那太郵政廳借方トナルトキハ計算書ノ寫ヲ返付スルト同時ニ加那太貨幣ヲ以テ當時ノ相場ニ

依リ買得ヘキ丈ケノ日本通貨ヲ買入レ横濱宛銀行爲替券ヲ以テ任拂フヘシ

此每一期間計算書用紙ハ附録丙丁及ヒ戊號ノ雛形ニ依ルヘシ
 計算決定前日本遞信省及ヒ加那太郵政廳ノ中一方ヨリ他方ヘ對シ五千弗餘ノ殘額ヲ生スルトキハ速ニ右殘額ノ見積高ヲ拂フヘシ

第十六條 日本遞信大臣及ヒ加那太郵政長官ハ前規約ノ旨趣ニ抵觸スルニ非サレハ詐僞ヲ防キ或ハ一般ニ爲替ノ事業ヲ改良スヘキ目的ヲ以テ新ニ條目ヲ増設スルノ權アルヘシ但甲國ニテ增加セシ條目ハ之ヲ乙國郵政廳ヘ通知スヘシ

第十七條 日本若シハ加那太商人ノ此爲替ヲ以テ金員ヲ遞送スルモノ夥多ニシテ隨テ其金員巨額ニ至ルトキハ日本遞信省若クハ加那太郵政廳ハ適宜ニ其手数料ヲ増加シ若クハ一時全ク其振出ヲ停止スルノ權アルヘシ

第十八條 此規約ハ明治二十二年十月一日即チ千八百八十九年十月一日ヨリ實施シ甲國ヨリ乙國ヘ廢止ノ報知ヲナシタル日ヨリ十二箇月間効力ヲ有スヘシ
 此規約ハ二通ヲ製シ一通ハ明治二十二年五月十六日東京ニ於テ記名調印シ又一通ハ一千八百八十九年六月二十七日「オツタワ」ニ於テ記名調印スルモノナリ

日本帝國遞信大臣

後 巖 象 二 郎

加那太郵政長官

ジョン、ハツガード

甲 號

日本ヨリ振出シ加那太ニ於テ仕拂フヘキ爲替目錄第 號御差越相成正ニ領収致候當局ヨリ最後ノ目錄第 號差進候後加那太ヨリ振出シ日本ニ於テ仕拂フヘキ爲替ノ爲メ當局ニ於テ領收致候金額ノ明細計算書今便差進候條御查收有之度候也

グヰントリア

千八百八十年

郵便爲替交換局長

東京

遞信省

外信局長殿

追テ本文目錄領収ノ旨御回答有之度候也

目錄第 號

甲 號

加那太ヨリ振出シ日本ニ於テ仕拂フヘキ爲替目錄

局印

甲 號
此ノ目錄ニ記載セル加那太ヨリ振出シ日本ニ於テ仕拂フヘキ金額總計 弗ニ相成候爲替第 號ヨリ第 號迄調査候處左記ノ件々ヲ除クノ外ハ都テ正當ノモノト見認候也

月		内國爲替ノ番號	外國爲替ノ番號	振出人名	差出人氏名	差出人住所	受取人氏名	受取人住所	加那太貨幣額	日本貨幣額	此欄ハ東京局於テ使用ス	仕拂名	替内國爲替ノ番號	東京局振爲替額	日本貨幣額	附	註

東京

逓信省 外信局長

千八百八十年
ヅヰットリア
郵便爲替交換局長殿

(未完)

乙號

加那太ヨリ振出シ日本ニ於テ仕拂フヘキ爲替目録第 號御差越正ニ領収致候當局ヨリ最後ノ目録第 號差進候後日本ヨリ振出シ加那太ニ於テ仕拂フヘキ爲替ノ爲メ當局ニ於テ領収致候金額ノ明細計算書今便差進候條御查收有之度候也

東京

逓信省

外信局長

千八百八十年
ヅヰットリア

郵便爲替交換局長殿

追テ本文目録御領収ノ旨御回答有之度候也

田錄第 號

乙 號

日本ヨリ振出シ加那太ニ於テ仕拂フヘキ爲替田錄

田

月	日	内國爲替ノ番號	外國爲替ノ番號	振出肩名	差出人氏名	差出人住所	受取人氏名	受取人住所 郵州共ハ ハ名名ス 成局郡載 可便名記シ	加ノ 金貨 額 非	日本 金貨 額 圓	此於 ハ於 使用 ハ於 振出 爲 内 替 號 拂 名	仕 局 名	附 註

乙號
此ノ目録ニ記載セル日本ヨリ振出シ加那太ニ於テ仕拂フヘキ金額總計 弗ニ相成候爲替第 號ヨリ第 號迄調査候處左記ノ件々ヲ除ク外ハ都テ正當ノモノト見認候也
ヅヰットリア郵便爲替交換局長

千八百八十年
東京
逓信省

○縣令第六十五號

明治廿二年十月四日

印紙類賣捌人ハ豫シメ印紙賣下願ニ用ヰル印鑑ヲ所轄收稅部出張所ニ届置キシ其願書ハ左ノ様式ニ據ル可シ但代理人ヲシテ出願スルモノハ本文ニ準シ其氏名印鑑ヲ届置ク可シ

印紙賣下願

一何印紙

何枚

一何印紙

何枚

(種類多キハ上下兩段ニ記載スルモ妨ケナシ)

右之通相願候也

印紙賣捌人(代理人ナルハ印紙賣)

捌人誰代理ト肩書ス

年月日

何 某印

宮城縣收稅部何出張所御中

○法律

明治二十二年十月一日

朕海軍軍人軍屬違警罪處分例制定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

法律第二十五號

海軍軍人軍屬違警罪處分例

第一條 海軍軍人軍屬ノ犯シタル違警罪ハ違警罪即決例ニ依リ憲兵部ニ於テ其處分ヲ爲シ憲兵

設置ナキ地ニ於テハ警察署ニ於テ其處分ヲ爲ス可シ

第二條 憲兵部若クハ警察署ニ於テ被告人ヲ留置シタルトキハ直チニ其所屬ノ長官若クハ艦船

團長ニ通知ス可シ

第三條 即決ノ言渡ニ對シテハ海軍常設軍法會議ニ正式ノ裁判ヲ請求スルコトヲ得其裁判管轄

ハ海軍治罪法ニ從フ

第四條 正式ノ裁判ヲ請求スル者ハ違警罪即決例第五條ニ記載シタル期限内ニ其理由ヲ記シタ

ル書面ヲ即決ノ言渡ヲ爲シタル憲兵部若クハ警察署ニ差出ス可シ

第五條 憲兵部若クハ警察署ニ於テ前條ノ書面ヲ受領シタルトキハ二十四時内ニ訴訟ニ關スル

一切ノ書類ヲ管轄軍法會議ノ長官ニ送致ス可シ

第六條 海軍軍法會議ニ於テ被告人ノ訊問ヲ要セサルモノト認ルトキハ書面ニ依リ其裁判ヲ爲

スコトヲ得

第七條 即決ノ言渡確定シ若クハ正式裁判ノ言渡ヲ爲シタルトキハ憲兵部警察署海軍軍法會議

ヨリ被告人所屬ノ長官若クハ艦船團長又ハ被告人所在ノ地ノ軍法會議主理ニ其執行ヲ囑託ス

ルコトヲ得

第八條海軍軍法會議ノ裁判ニ對シテハ上訴ヲ爲スコトヲ得ス

○法律 明治二十二年十月一日

朕海軍治罪法中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

法律第二十六號

海軍治罪法中左ノ通改正ス

第一條「審判」ノ下ニ「及ヒ違警罪ノ正式裁判」ノ十字ヲ增加シ第二十一條第二十二條第二十三條第二十五條第二十六條第二十七條第三十二條ニ記載シタル「重罪輕罪」ヲ「罪」ト改ム

○法律 明治二十二年十月三日

朕屯田兵司令部ニ軍法會議ヲ設クルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

法律第二十七號

第一條 屯田兵所在地ニ軍法會議ヲ設ケ北海道ヲ以テ其管轄ト爲シ屯田兵司令官ノ部下ニ屬スル軍人ノ犯罪ヲ審判セシム

其軍法會議ノ構成權限檢察復權特赦其他治罪ニ關スル手續ハ總テ陸軍治罪法ニ從フ

第二條 陸軍治罪法ニ於テ長官ノ職權ハ屯田兵司令官之ヲ行フ

第三條 佐官ヲ以テ判士長判士ト爲シ尉官ヲ以テ判士ト爲ストキハ屯田兵司令官其部下中ヨリ之ヲ命ス

其部下ニ非サル者ヲ以テ判士長判士ト爲スヲ要スルトキハ屯田兵司令官ノ上申ニ依リ陸軍大臣之ヲ命

第四條 陸軍檢察官ノ職務ハ屯田兵司令部副官之ヲ行フ

○勅令 明治二十二年十月一日

朕勳章佩用式追加ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

勅令第百八號

明治二十一年(十一月)勅令第七十六號勳章佩用式第一條ニ左ノ但書ヲ追加ス
但菊花章ヲ賜ヒタル者ハ旭日桐花大綬章瑞寶一等章ヲ併セ佩ルコトヲ得

○大藏省令第十二號 明治二十二年十月三日

北海道地租納期左ノ通改定ス

北海道地租納期

第一期 該年七月一日ヨリ
同八月三十一日限

宅地及雜地 五分

第二期 該年十月一日ヨリ
同十一月三十日限

田畑鐵泉地池沼及山林原野 五分

第一條 金庫所在地ノ出納官吏ハ其取扱フ所ノ現金ヲ保管ノ爲メ其地ノ金庫ニ委託スヘシ

第二條 前條ニ據リ委託ヲ爲サントスルトキハ出納官吏ハ其資格氏名ヲ記シタル印鑑二通ヲ大藏大臣ニ送付シ同時ニ其旨ヲ金庫ニ申込ムヘシ

第三條 出納官吏ヨリ保管金ノ拂込ヲナストキハ金庫ハ其保管證書ヲ製シ現金ト引換ニ之ヲ出納官吏ニ交付スヘシ

第四條 大藏大臣ハ第二條ノ印鑑送付ヲ受ルトキハ出納官吏ノ資格ヲ調査シ一通ノ印鑑ヲ金庫ニ送付シ同時ニ其旨ヲ出納官吏ニ通知スヘシ

第五條 金庫ハ大藏大臣ヨリ出納官吏ノ印鑑送付ヲ受ルトキハ保管金引出切符用紙ヲ出納官吏ニ交付スヘシ

第六條 出納官吏ハ保管金ノ仕拂チ金庫ニ請求セントスルトキハ總テ引出切符ヲ以テスヘシ

第七條 出納官吏ハ其委託シタル保管金ト同種ノ貨幣ヲ以テ仕拂チ請ハントスルトキハ拂込ノ際特ニ之ヲ金庫ニ求ムヘシ拂込ノ際特別ノ請求ナキモノハ總テ有合ノ通貨ヲ以テ仕拂フヘシ

第八條 出納官吏ハ其委託シタル保管金ヲ以テ収入又ハ返納ノ爲メ金庫ニ拂込テナサントスルトキハ引出切符ヲ以テ拂込ヲナスヘシ

第九條 金庫ハ毎年三月三十一日ヨリ於テ其年度中ニ委託セラレタル保管金額ヨリ仕拂タル金額ヲ扣除シ其殘金額ニ對シ更ニ保管證書ヲ製シ同年度中ニ出納官吏ニ交付シタル保管證書ト引換フヘシ

第十條 陸海軍隊費ニシテ現金仕拂ヲ要スル場合及應中雜費工事費ニシテ小口ノ現金仕拂ヲ要スル場合ニ於テハ金庫所在地ニアリテモ所要ノ金額ヲ限り本規則第二章ニ據リ現金ヲ保管スルコトヲ得

前項所要ノ金額ハ仕拂命令官之ヲ定ム

第二章 隨意保管

第十一條 金庫ノ設ナキ場所ニ於テ現金ヲ保管スル所ノ出納官吏ハ堅牢ナル函ヲ備ヘ之ニ其保管ニ係ル現金及ヒ出納ノ帳簿ヲ藏置スヘシ二人以上共同責任ヲ以テ現金ヲ保管スル場合ニ於テハ二箇以上ノ鎖鑰ヲ有スル堅牢ノ函ヲ備ヘ出納官吏其鎖鑰ヲ分管スヘシ

出納官吏現金ヲ携帶シテ旅行スル場合ニ於テハ前二項ニ據ラス相當ノ保護法ヲ設ルコトヲ得

第十二條 出納官吏ノ保管ニ係ル現金ハ私有金ト混スルヲ得ス

第十三條 出納官吏他ノ公金ノ出納ヲ兼掌スルトキハ其現金ヲ官金ト同一ノ函中ニ藏置スルコトヲ得

第十四條 出納官吏ハ第十一條ニ據リ現金保管ヲナシ難キ場合ニ於テハ自己ノ責任ヲ以テ確實ナル銀行又ハ身代ノ確實ナル一人ニ其保管スヘキ現金ノ保管ヲ托スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ私金ト區別シ其計簿ヲ混スヘカラス

第三章 拂込

第十五條 金庫所在地ノ収入官吏現金ヲ以テ租稅其他ノ収入ヲ收納スルトキハ毎日之ヲ取纏メ

拂込書ヲ添ヘテ翌日マテニ金庫ニ拂込ムヘシ但収入金額五十圓未満ナルトキハ每一個月取纏
メ金庫ニ拂込ムコトヲ得

第十六條 金庫ノ設置ナキ地方ノ収入官吏現金ヲ以テ租稅其他ノ収入ヲ收納スルトキハ左ノ制
限ニ從ヒ之ヲ取纏メ拂込書ヲ添テ大藏大臣ノ指定シタル金庫ニ拂込ムヘシ但次條ニ定メタル
場合ハ此限ニアラス

第一 收入金高百圓未満ハ 毎十日

第二 同 三百圓未満ハ 毎五日

第三 同 三百圓以上ハ 翌日限

第十七條 外國及運輸通信ノ不便ナル地方ニシテ金庫ノ設置ナキ場合ニ於テ収入官吏現金ヲ以
テ租稅其他ノ収入ヲ收納スルトキハ毎月其金額ヲ取調ヘ本屬大臣ヲ經由シテ之ヲ大藏大臣ニ
報告シ同時ニ其金額ノ監守證ヲ製シテ大藏大臣ノ指定シタル金庫ニ送付スヘシ

第十八條 金庫ハ前條ノ場合ニ於テ収入官吏ト同場所又ハ其場所ト爲替送金ノ便アル地方ニ於
テ仕拂フヘキ仕拂命令ヲ受ルトキハ収入官吏ノ監守證ニ別符付ノ領收證ヲ添ヘテ之ヲ受取人
ニ送付スヘシ

第十九條 收入官吏ハ前條ノ受取人ヨリ監守證ヲ以テ現金ノ拂渡ヲ請求セラルトキハ其監守
證ト引換ニ現金ヲ交付シテ金庫ノ領收證ヲ受シヘシ

雜則

第二十條 本規則ハ收入官吏現金前渡ヲ受タル官吏特別會計ニ係ル官金出納官吏ニ適用ス

第二十一條 本規則ハ明治二十三年四月會計法施行ノ日ヨリ施行ス
警視廳 府 縣
集治監 假留監

○内務省訓令第三十九號 明治二十二年十月五日
本年當省訓令第三十六號物品出納規則第二十五條ノ計筭書ハ別冊程式(進達期限ハ規程ノ通)ニ
由リ調製スヘシ

但別冊ハ別ニ頒付ス
明治二十二年十月五日 一等郵便電信局 一等郵便局

○遞信省訓令第三號 明治二十一年(八月)訓令第八號郵便貯金預所取扱人採用規程中左ノ通更正ス

第一條第四條第五條第六條中遞信管理局長トアルヲ一等郵便電信局郵便局長ト改ム

第一號第二號書式中何遞信管理局長トアルヲ何郵便電信局郵便局長ト改ム

○遞信省告示第九十三號 明治二十二年十月五日
巴理締結萬國郵便聯合條約里斯本追加書第九條乙ニ據リ蒙^{モンテネグロ}の尼古羅國ト別配達郵便ヲ交換ス

○遞信省告示第九十四號 明治二十二年十月五日
明^{モンテネグロ}治十九年遞信省告示第一百五號水液脂肪類見本ヲ交換シ得ル國名中「蒙^{モンテネグロ}的尼古羅」ヲ追加ス

○勅令 明治二十二年十月七日
朕海軍旗章條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

勅令第百十一號

海軍旗章條例

第一條 海軍旗章ノ名稱ハ左ノ如シ

第一 天皇旗

第二 皇后旗

第三 皇太子旗

第四 親王旗

第五 海軍大臣旗

第六 將旗

第七 代將旗

第八 先任旗

第九 軍艦旗

第十 艦首旗

第十一 長旗

第十二 當直旗

第十三 運送船旗

第十四 要招水先旗

第十五 海軍病院旗

海軍旗章ノ制式ハ別圖ノ如シ

第二條 天皇旗ハ

天皇乘御ノ艦船ニ於テ大櫓頂ニ掲ク

天皇旗ヲ掲ケタル艦船ニ於テハ區別旗旗(海軍大臣旗將旗代將旗先任旗ヲ云フ以下同シ)及長

旗ハ総テ降下ス可シ

天皇乘御ノ端舟ニ於テハ天皇旗ヲ舟首ノ旗竿ニ掲ク

第三條 皇后旗ハ

皇后乘御ノ艦船ニ於テ大櫓頂ニ掲ク

皇后旗ヲ掲ケタル艦船ニ於テハ區別旗旗及長旗ハ総テ降下ス可シ

皇后乘御ノ端舟ニ於テハ皇后旗ヲ舟首ノ旗竿ニ掲ク

太皇太后皇太后艦船又ハ端舟ニ乘御ノトキハ前諸項ニ同シ

第四條 皇太子旗ハ

皇太子乘御ノ艦船ニ於テ大櫓頂ニ掲ク

皇太子旗ヲ掲ケタル艦船ニ於テハ區別旗旗及長旗ハ総テ降下ス可シ

皇太子乘御ノ端舟ニ於テハ皇太子旗ヲ舟首ノ旗竿ニ掲ク

皇太子妃艦船又ハ端舟ニ乗御ノトキハ前諸項ニ同シ

第五條 親王旗ハ親王乗御ノ艦船ニ於テ大檣頂ニ掲ク又端舟ニ乗御ノトキハ舟首ノ旗竿ニ之ヲ掲ク但親王武官ノ資格ヲ以テ乘艦若クハ乘舟ノトキハ之ヲ掲ケス

内親王及親王妃艦船若クハ端舟ニ乗御ノトキハ前諸項ニ同シ

第六條 海軍大臣旗ハ海軍大臣公務ヲ帶ヒ乗艦シタルトキハ大檣頂ニ掲ク又公務ヲ帶ヒ端舟ニ乗ルトキハ之ヲ舟首ノ旗竿ニ掲ク

第七條 將旗ハ司令長官司令官タル將官指揮權ヲ帶ヒ乗艦シタルトキ大將ニ在テハ大檣頂ニ之ヲ掲ク中將ニ在テハ前檣頂ニ之ヲ掲ク少將ニ在テハ後檣頂ニ之ヲ掲ク

少將二檣艦ニ乗艦シタルトキハ將旗ヲ前檣頂ニ掲ク

中將二檣以下ノ艦ニ乗艦シタルトキハ將旗風上ノ上隅ニ紅球一箇ヲ附シ少將二檣以下ノ艦ニ乗艦シタルトキハ將旗風上ノ上下隅ニ紅球各一箇ヲ附ス將旗ヲ陸上ノ旗竿ニ掲クルトキモ亦同シ

司令長官司令官タル將官公務ヲ帶ヒ端舟ニ乗ルトキハ將旗ヲ舟首ノ旗竿ニ掲ク但中將及少將ニ在テハ紅球ヲ附スルコト前項ニ同シ

第八條 代將旗ハ司令官タル大佐指揮權ヲ帶ヒ乗艦シタルトキ大檣頂ニ掲ク

司令官タル大佐公務ヲ帶ヒ端舟ニ乗ルトキハ代將旗ヲ舟首ノ旗竿ニ掲ク

第九條 前任旗ハ同港内ニ二艘以上ノ軍艦碇泊シ司令長官司令官不在ノトキ前任艦長之ヲ後檣

頂ニ掲ク但二檣艦ニ於テハ前檣頂ニ之ヲ掲ク

第十條 軍艦旗ハ在役艦ニ於テ後檣縱帆架若クハ艦尾ノ旗竿ニ掲ク

第十一條 艦首旗ハ在役艦碇泊中艦首ノ斜檣若クハ艦首ニ掲ク但風雨又ハ操練等ノ節ハ時宜ニ依リ之ヲ掲ケサルコトヲ得

第十二條 長旒ハ在役艦ノ大檣頂ニ掲ク但二檣艦船ニ於テハ後檣頂ニ之ヲ掲ク

長旒ハ海軍所屬運送船ニ於テ船長海軍將校ナルトキモ亦前項ニ依リ之ヲ掲ク

前任旗ヲ除キ他ノ區別旗旒ヲ掲クルトキハ長旒ヲ掲ケサルモノトス

長旒ハ艦船長公務ヲ帶ヒ端舟ニ乗ルトキ又ハ訪問使他ノ艦船ヲ訪問スルトキ舟首ノ旗竿ニ掲ク

第十三條 豫備艦非役艦軍港外ニ在ルトキハ第十條第十一條第十二條ニ依リ軍艦旗艦首旗長旒ヲ掲クルモノトス但軍港内ニ在ルトキト雖モ時宜ニ依リ之ヲ掲クルコトヲ得

第十四條 當直旗ハ當直艦ニ於テ後檣頂ニ掲ク

第十五條 運送船旗ハ海軍所屬運送船又ハ運送ノ用ニ供スル爲メ備役スル船舶ノ大檣頂ニ掲ク但海軍所屬運送船ニ於テ船長海軍將校ナルトキハ之ヲ掲ケス

第十六條 要招水先旗ハ海軍艦船ニ於テ水路嚮導者ヲ要招スルトキ前檣頂若クハ他ノ見エ易キ所ニ掲クルモノトス但普通信號ヲ以テ水路嚮導者ヲ要招スルトキハ之ヲ掲ケサルモ妨ナシ

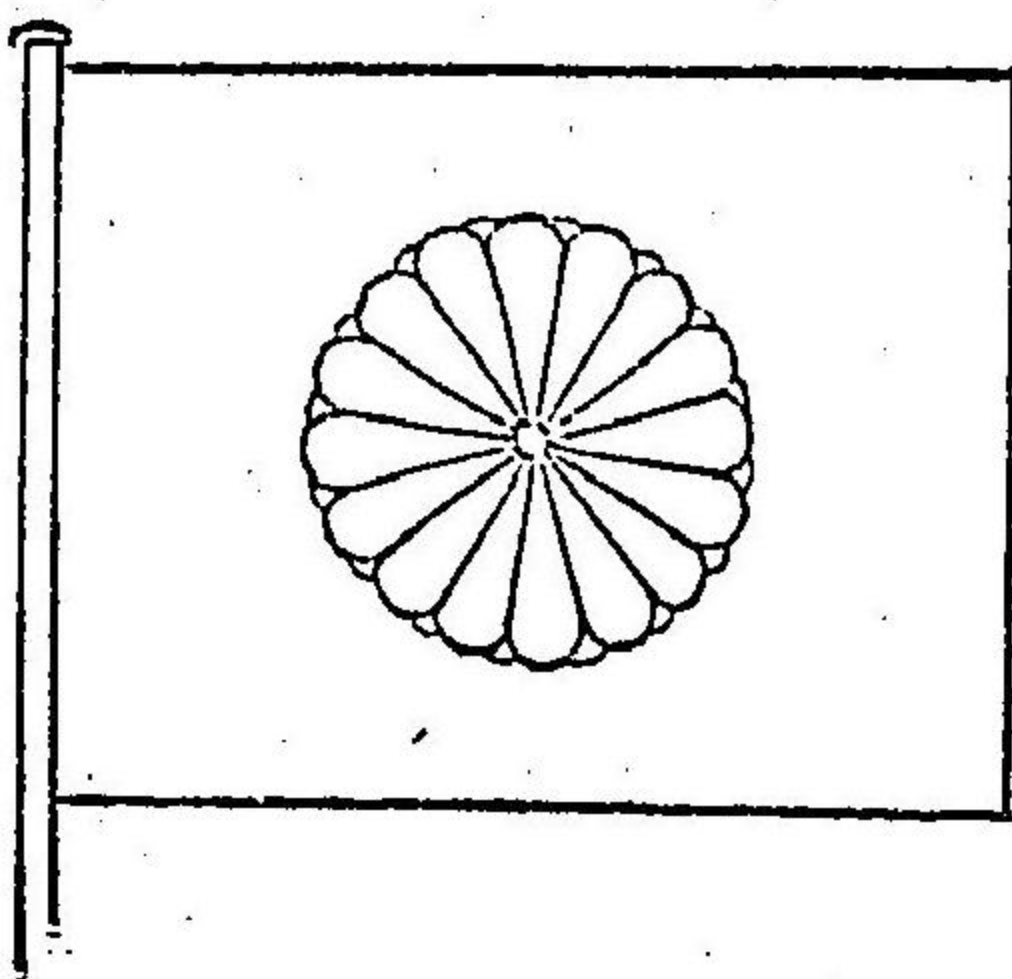
第十七條 海軍病院旗ハ戰時若クハ事變ノ際海軍病院若クハ病院船ニ之ヲ掲ク又病院附屬ノ物

品ヲ運送スル舟車等ニ之ヲ用ユルコトヲ得

附則

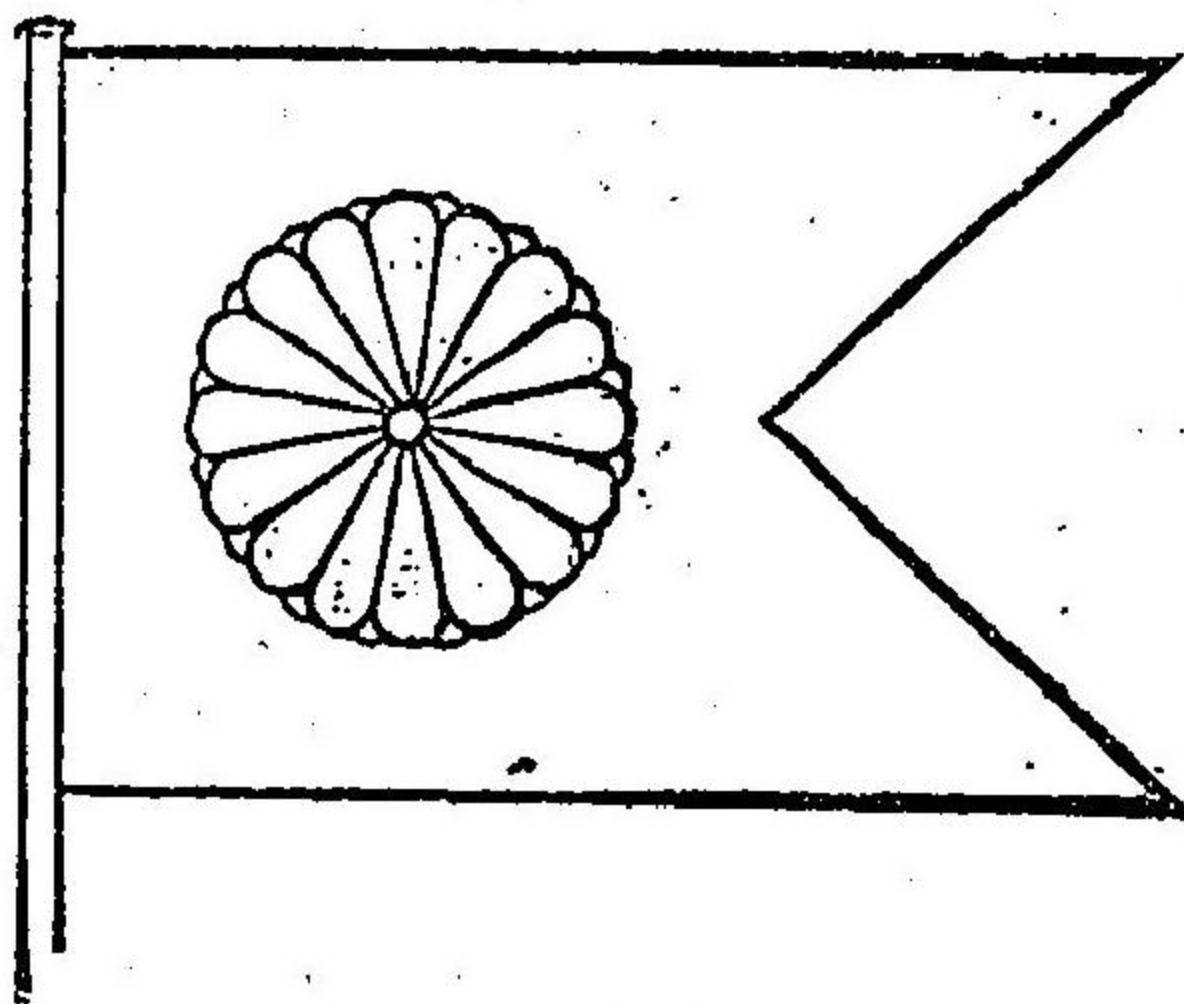
第十八條 軍艦旗ハ明治二十二年十一月三日ヨリ用フ

天皇旗



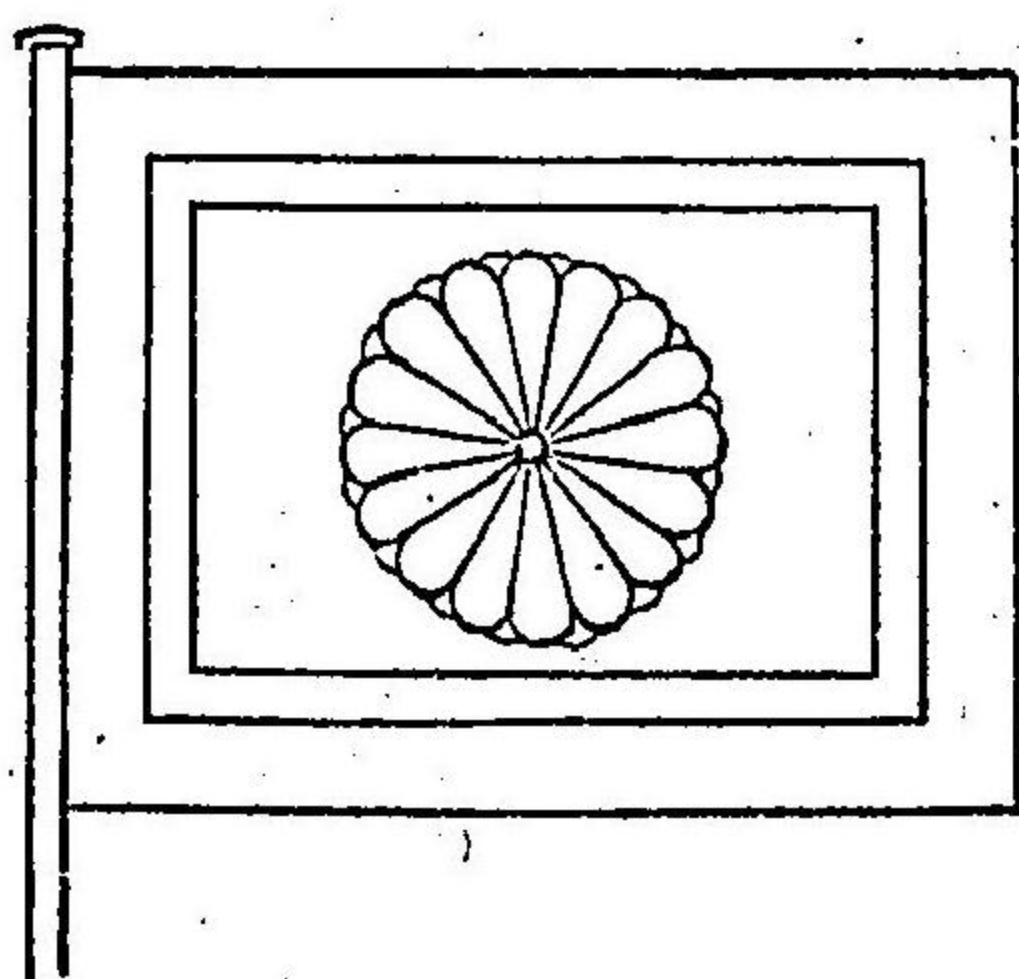
地色 紅
菊章 金
横 一ト二分一
菊心 旗面ノ中心
菊心徑 縦ノ九分一
菊全徑 縦ノ三分二
雨風ノ際用ユルモノ
ニハ黄旗ヲ以テ菊
章ヲ作ル
皇后旗皇太子旗親王
旗ニ在テモ亦同シ

皇后旗 太皇太后旗皇太后旗亦同シ



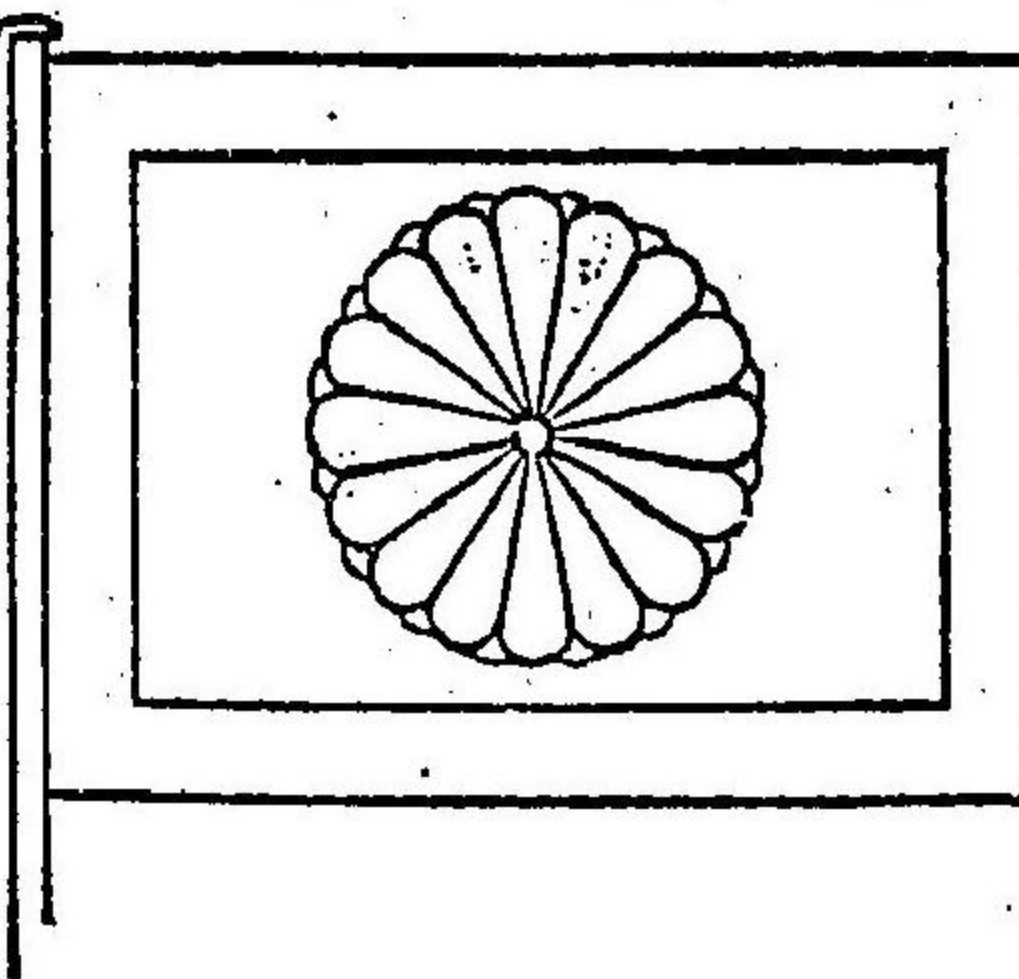
地色 紅
菊章 金
横 一ト四分一
燕尾開裂 上下等分
菊心 燕尾ヲ除キ
菊心徑 中心
菊全徑 縦ノ三分二

皇太子旗 皇太子妃旗亦同シ



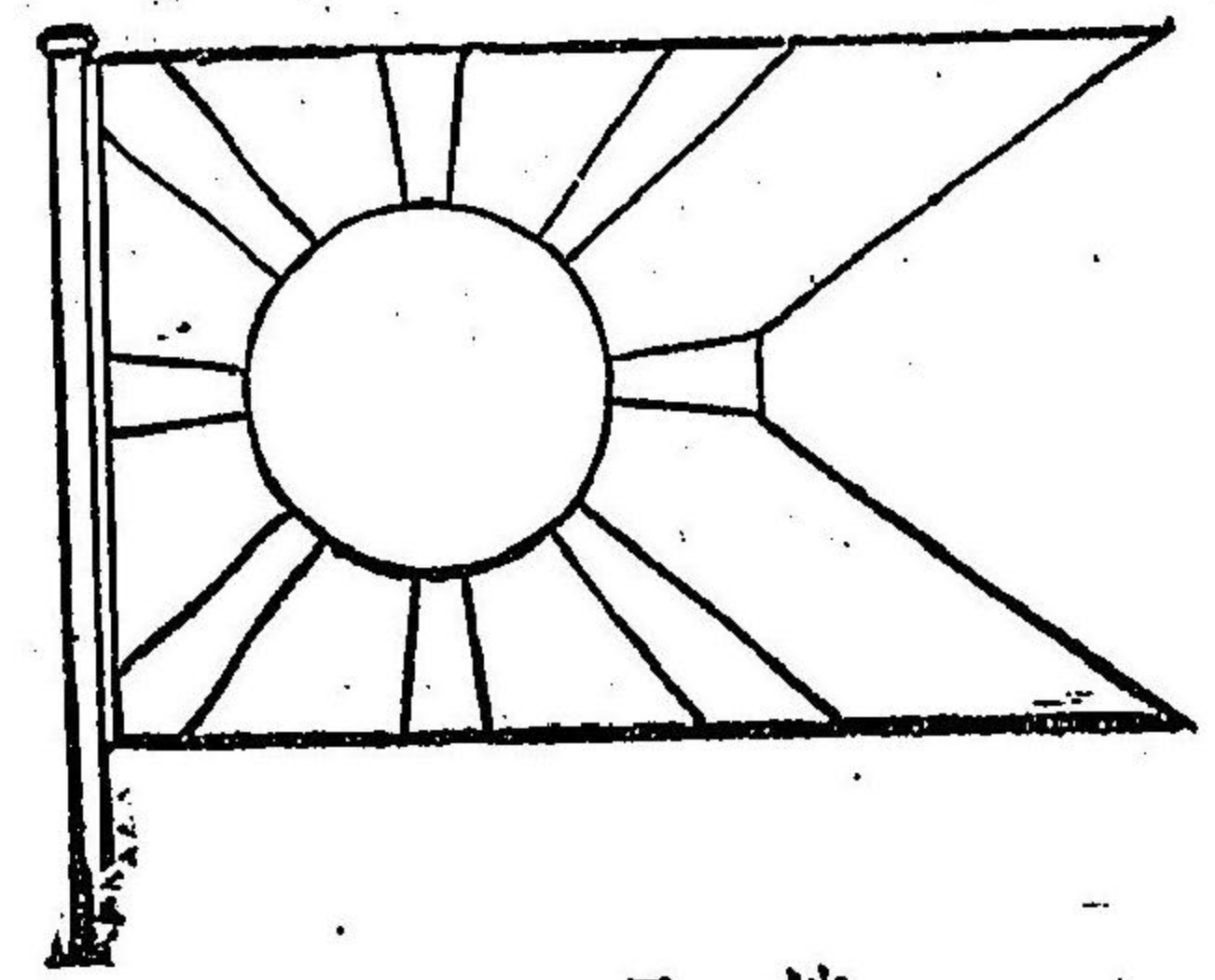
地色 紅
菊章 金
横 一ト二分一
菊心 旗面ノ中心
菊心徑 縦ノ二分一
菊全徑 縦ノ五分一
白輪廓 縦ノ五分一
紅縁幅 縦ノ五分二

親王旗 内親王親王妃旗亦同シ



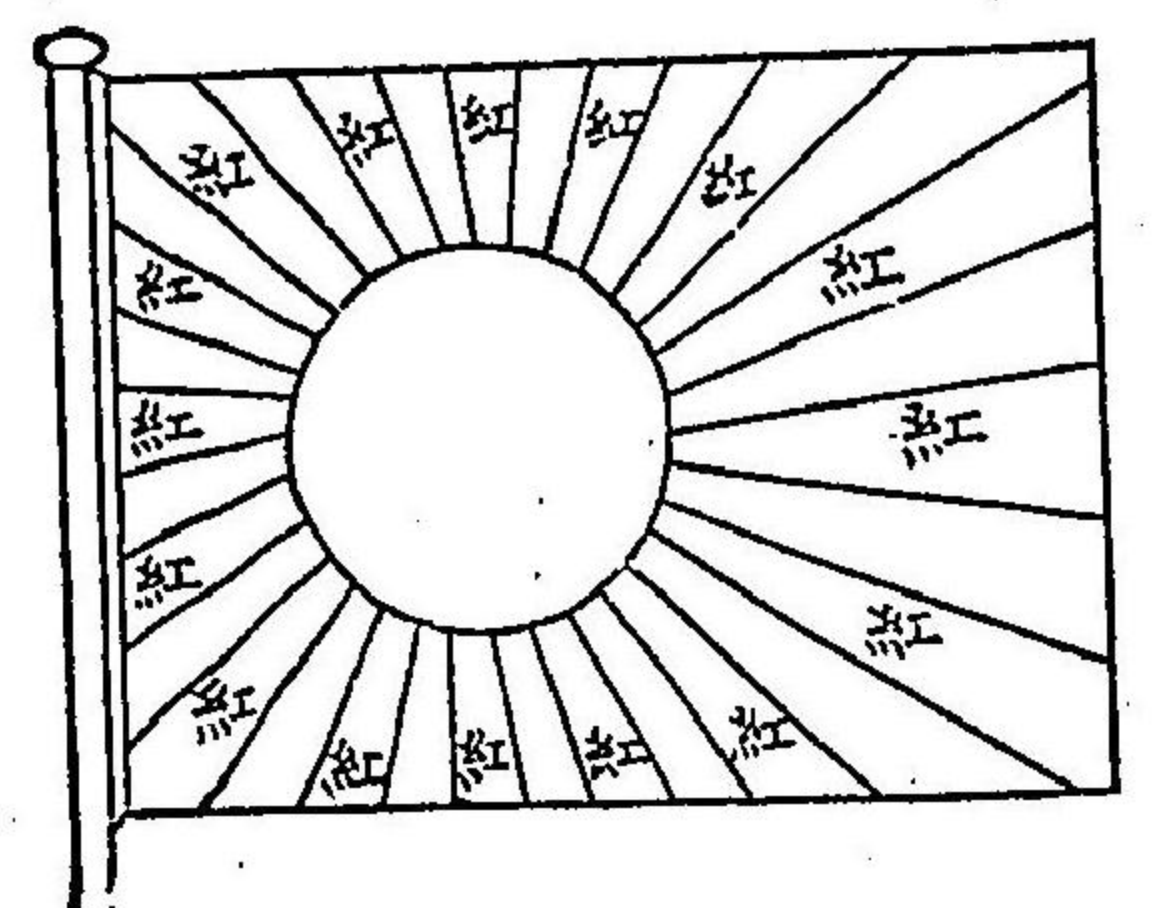
地色 白
菊章 金
横 一ト二分一
菊心 旗面ノ中心
菊心徑 縦ノ二分一
菊全徑 縦ノ五分一
紅縁幅 縦ノ五分二

先任旒



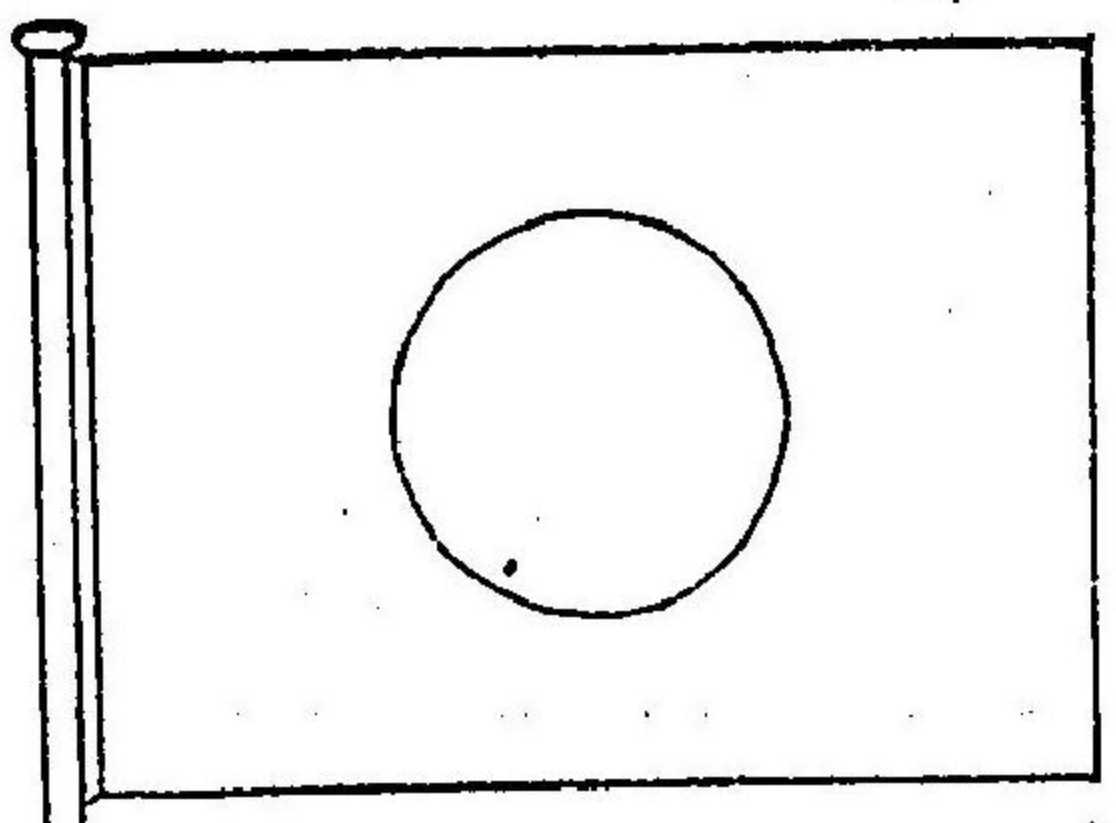
地色 紅
日章光線白
右ノ外代將旒ニ同シ

軍艦旗

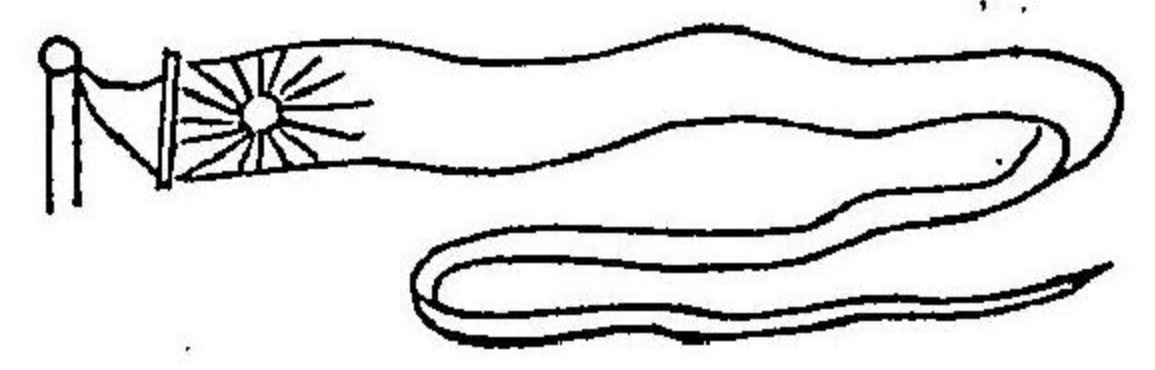


地色 紅
日章光線白
横 縦ノ一ト二分
日章中心 旗面ノ中心ヨ
日章中心 偏スルコトニ
日章幅 縦ノ六分一
日章光線間隔 十一度四分一
光線幅 十一度四分一
光線間隔 十一度四分一

艦首旗

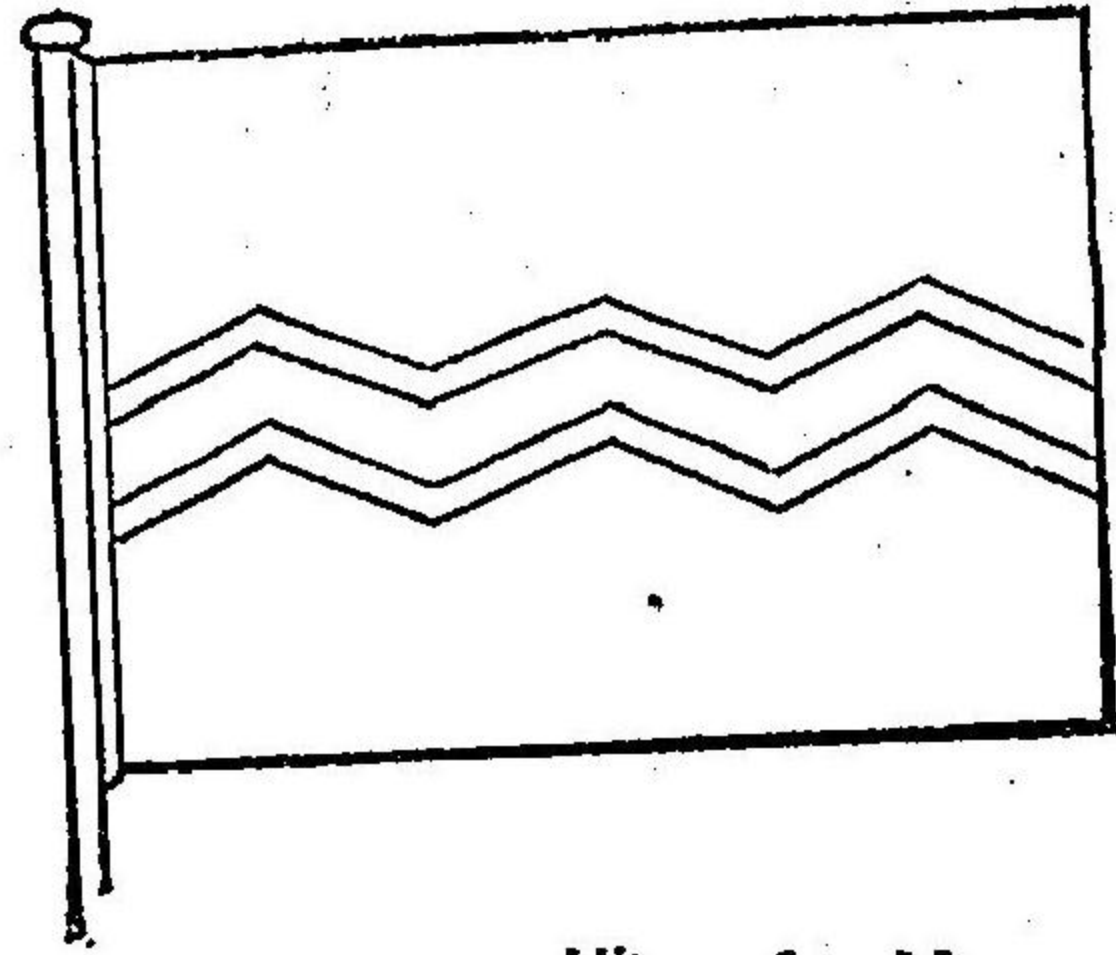


長旒



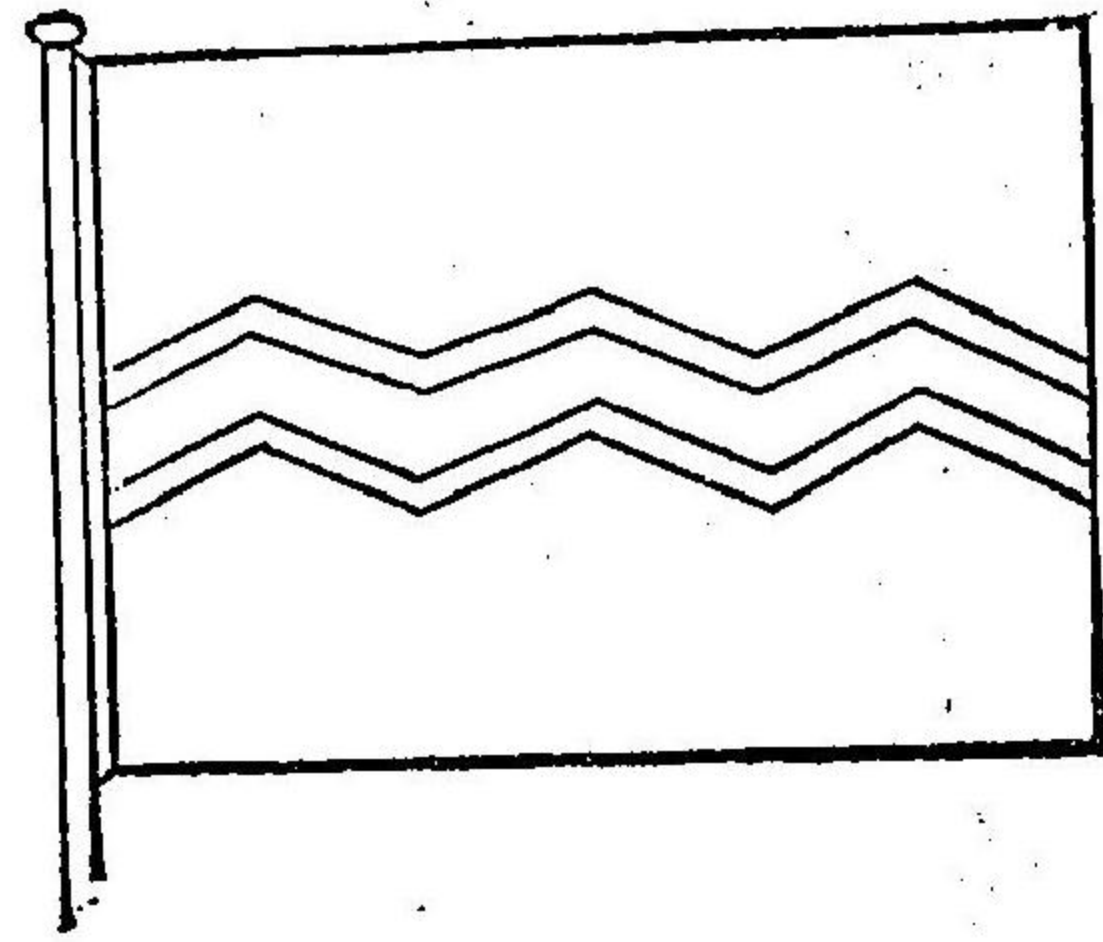
艦首旗 地色 紅
日章中心 縦ノ一ト二分一
日章中心 旗面ノ中心
日章中心 縦ノ三分二
長旒 地色 白
日章中心 縦ノ十二ト十分七
上端ニ軍艦旗ト同一ノ日章光線ヲ附ス

營直旗



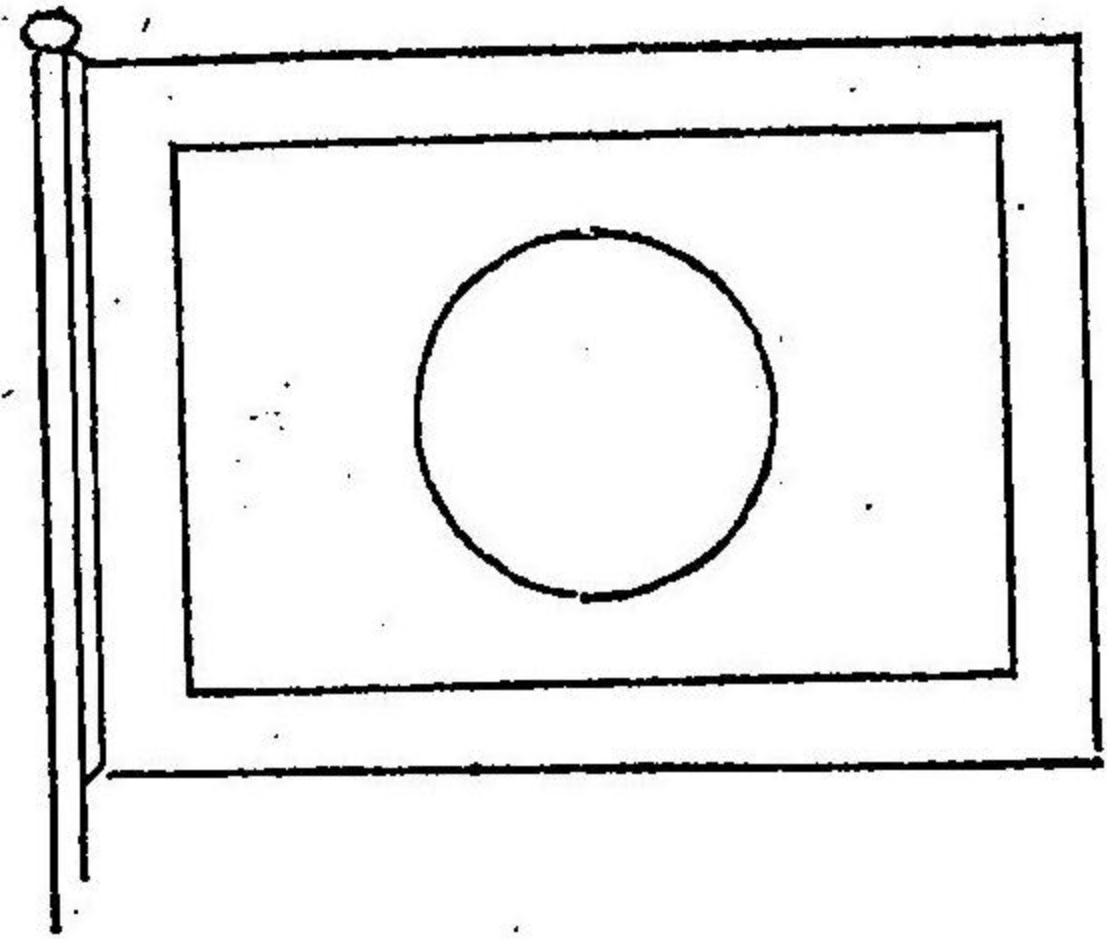
地色 紅
山形 白
横 一
縦ノ一ト二分
山形ノ幅及位置ハ海軍大臣旗ニ同シ

運送船旗



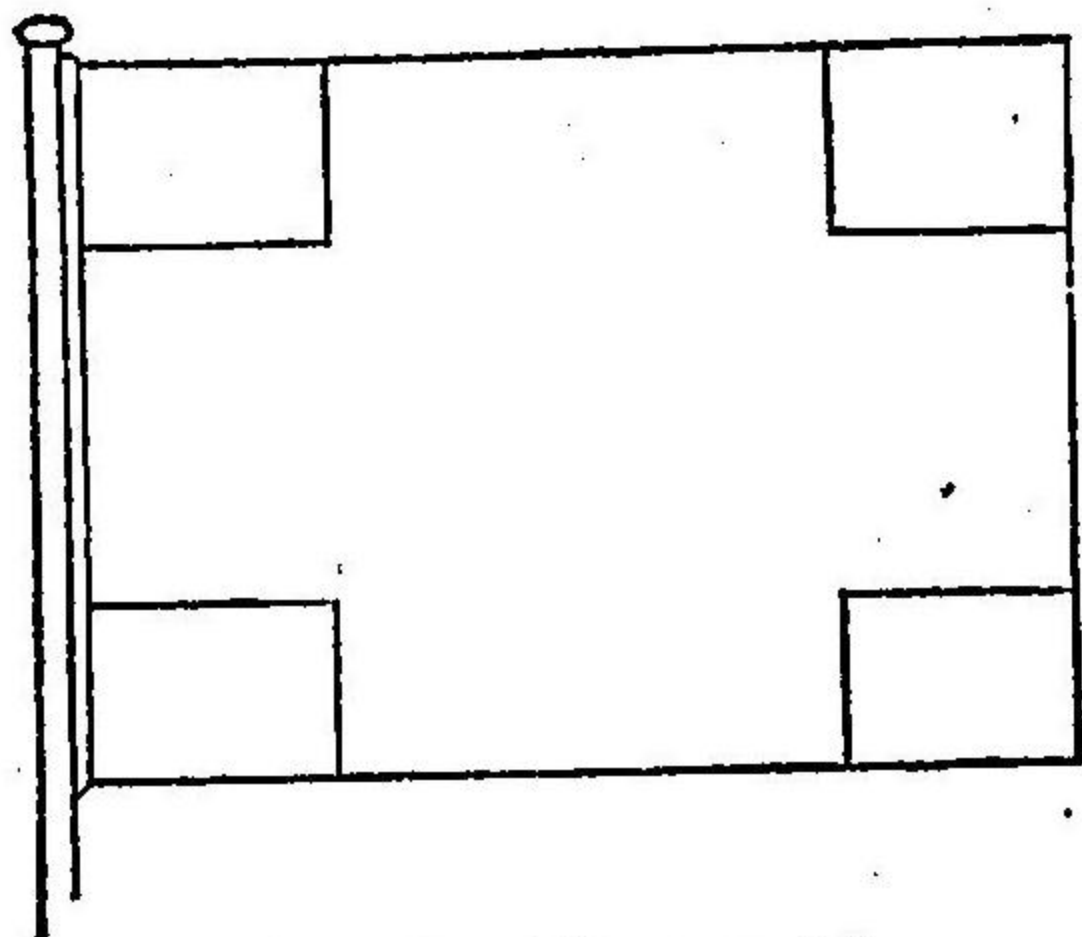
地色 白
山形 紺
横 一
縦ノ一ト二分
山形ノ幅及位置ハ海軍大臣旗ニ同シ

要招水先旗



地色 白
日章 紅
縁 紺
横 一
縦ノ一ト二分
日章中心旗面ノ中心
日章全徑縦ノ二分一
紺縁幅 縦ノ十五分二

海軍病院旗



地色 白
四隅 紅
横 一
縦ノ一ト二分
紅隅ノ長縦ノ四分一
紅隅ノ幅横ノ四分一

○勅令

明治二十二年十月七日

朕明治十八年度歳入歳出ノ總決算ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

勅令第百十二號

第一條 會計檢査院ノ檢査ヲ經明治十八年度ノ歳入額ヲ六千二百十五万六千八百三十四圓八十七錢七厘歳出額ヲ六千百一十一万五千三百三十三圓二十五錢九厘ニ確定ス

第二條 前條歳入歳出ノ差額百四万五千五百二十一圓六十一錢八厘ハ之ヲ翌年度ニ繰越シ同年度ノ歳入ニ編入セシム

明治十八年度歳入歳出總決算

歳入

經常歳入

- 第一 款 租 稅 金五千二百五十八万二千二百六十三圓六錢一厘
- 第一項 海關稅 金二百八萬五千二百四十九圓八十六錢四厘
- 第二項 地租 金四千三百三万三千六百七十九圓二十四錢
- 第三項 鑛山稅 金一萬八千三百四十五圓九十二錢九厘
- 第四項 北海道物産稅 金五十五万四千七百七十七圓五十七錢五厘
- 第五項 酒造稅 金百五万三千四百六十五圓八錢八厘

- 第六項 醫藥營業稅 金二万七千四百十四
- 第七項 烟草稅 金九十萬五千八十六圓九十六錢三厘
- 第八項 證券印稅 金四十三万五千八百四十四圓七十二錢三厘
- 第九項 郵便稅 金百五十九万九千二百五十五圓三十九錢九厘
- 第十項 訴訟用印紙料 金二十七万三千八百九十六圓二十八錢九厘
- 第十一項 代言免許料 金七千六百三十圓
- 第十二項 船稅 金二十三万八千三百三十三圓八十八錢二厘
- 第十三項 車稅 金四十八万四千二十九圓三十一錢三厘
- 第十四項 會社稅 金三十五万四千六百二十七圓十五錢五厘
- 第十五項 銃獵稅 金五万七千七百七十五錢
- 第十六項 牛馬賣買免許稅 金六萬六千三百三十四圓二十八圓一厘
- 第十七項 賣藥稅 金二十八万二千二百二十七圓四十五錢六厘
- 第十八項 度量衡稅 金八百六十八圓九十五錢三厘
- 第十九項 醬油稅 金六十四万七百七十九圓三十六錢八厘
- 第二十項 菓子稅 金四十三万七千八百九十二圓九十九錢四厘
- 第二十一項 版權免許料 金二千九百八十七圓十六錢九厘
- 第二十二項 商標登錄手数料 金六千七百九十五圓

第二十三項 專賣免許料 金二千八百二十四
 第二十四項 海外旅券其他 金一万九千二百五十四四十八錢
 免許手數料
 第二十五項 舊稅追納 金六百三十七圓十九錢
 第二款 作業益金 金二百二十九萬七千六百九十七圓五十錢五厘
 第一項 大藏省造幣 金百四十五萬九千九百三十四錢四厘
 第二項 大藏省鑛山 金十五萬二千六百八十六圓九錢五厘
 第三項 陸軍省兵器製造 金三萬七千七百七十七圓八錢七厘
 第四項 海軍省造船 金七萬七千九百五圓八十三錢九厘
 第五項 海軍省石版 金四萬四千九百九十七圓七錢七厘
 第六項 農商務省製作 金七萬七千五百二圓六錢六厘
 第七項 農商務省造船 金三千四百六十四圓三十九錢八厘
 第八項 工部省鑛山 金二萬六千七百七十四圓五十二錢
 第九項 工部省工作 金二千五百四十四圓六十七錢
 第十項 工部省採油 金三百圓
 第十一項 遞信省電信 金千九百三十三圓十一錢六厘
 第十二項 鐵道局鐵道 金四十五萬三千八百九十四圓四十六錢三厘
 第十三項 廣島縣鑛山 金六十五圓十錢

第三款 減債繰入 金百一十一萬三千五百五十四圓八十一錢三厘
 第四款 雜收 入 金四十三萬七千五百六圓二十三錢三厘
 第一項 森林收 入 金二十四萬六千九百九十六圓六十錢二厘
 第二項 官有物貸下料 金八萬九千七百圓三十四錢三厘
 第三項 開港市場官地貸下料 金六萬六千一百一十一圓九十三錢三厘
 第四項 雜入 金四萬六千九百四十七圓三十五錢五厘
 經常歲入合計金五千六百四十二萬九千六百二十一圓六十一錢二厘
 臨時歲入
 第一款 雜收 入 金百三十九萬八千二百二十四圓二十六錢五厘
 第一項 官有物拂下代 金三十九萬四千九百九十四圓二十八錢五厘
 第二款 雜入 金百二十三萬九千九百九十九圓九十八錢
 第二款 軍備繰入 金百二十六萬二千八百八十四圓
 第三款 借入金 金三百六萬六千二百五圓
 臨時歲入合計金五百七十二萬七千二百十三圓二十六錢五厘
 歲入總計金六千二百五十五萬六千八百三十四圓八十七錢七厘
 歲出

經常歲出

- 第一款 國債償還 金五百二十七萬六千二百二十五圓
- 第二款 內國債償還 金四百六十六萬九千四百二十五圓
- 第三款 外國債償還 金六十萬六千六百圓
- 第四款 國債利子並雜費 金八百八十二萬五千三百五十二圓四十六錢二厘
- 第五款 內國債利子 金八百四十七萬三千四百五十七錢一厘
- 第六款 內國債雜費 金一萬九千五百六十七圓三十八錢四厘
- 第七款 外國債利子 金三十三萬五千三百八十五圓三十六錢六厘
- 第八款 外國債雜費 金五十四圓十四錢一厘
- 第九款 帝室費 金百七十九萬七千二百四十六圓
- 第十款 年金恩給諸祿 金三十三萬四千六百四十六圓六十六錢四厘
- 第十一款 賞勳年金 金七萬八千六百八十八圓四十六錢七厘
- 第十二款 文官恩給 金六十一圓二十五錢
- 第十三款 軍人恩給 金十一萬八千六百九十四圓十三錢
- 第十四款 沖繩縣士族金祿 金十五萬二千八百四十七圓八十一錢七厘
- 第十五款 一時賜金 金六萬五千二百五十四圓三十七錢七厘
- 第十六款 官省院局費 金二千五百三十四圓六十錢七厘

- 第一項 內閣 金十七萬四千二百七十六圓三十一錢三厘
- 第二項 太政官 金三十三萬九千五百八十六圓十二錢五厘
- 第三項 外務省 金十四萬七千九百九十六圓九十三錢一厘
- 第四項 內務省 金三十八萬六千五百三十六圓三十九錢二厘
- 第五項 大藏省 金四十九萬四千四百七十七圓七十二錢二厘
- 第六項 陸軍省 金九百六十六萬六千二百三十七圓四十二錢
- 第七項 海軍省 金二百六十三萬四千六百五十七圓九十三錢五厘
- 第八項 文部省 金六十九萬五千九百九十六圓二十二錢一厘
- 第九項 農商部 金五十五萬三千三百四十一圓五錢五厘
- 第十項 工部省 金二十二萬三千八百六十二圓八十三錢五厘
- 第十一項 司法部 金百六十七萬三千七百三十三圓九十一錢九厘
- 第十二項 遞信省 金百九十九萬六千五百四十四圓六錢一厘
- 第十三項 元老院 金二十一萬三千三百五十七圓七錢六厘
- 第十四項 會計檢査院 金六萬八千四百六十五圓五十四錢五厘
- 第十五項 在外公館 金四十六萬二千五百四十四圓
- 第十六項 主稅局 金五十五萬五千五百十四圓八錢九厘
- 第十七項 鐵道局 金四萬九千九百三十三圓四十錢六厘

- 第十八項 工部 大學校 金二萬三千七百七十六圓七十七錢九厘
- 第十九項 北海道事業管理局 金三十四萬六千五百三十九圓四十八錢三厘
- 第七款 營繕土木費 金百八十一萬六千七百七十二圓十錢五厘
- 第一項 營繕 金八萬二千二百二十二圓七十八錢二厘
- 第二項 土木 金百七十三萬三千九百四十九圓三十二錢三厘
- 第八款 廳 費 金三百九十二萬五千四百四十八圓七錢九厘
- 第九款 府縣徵稅費 金百四十五萬三千七百七十八圓五十八錢
- 第十款 警察費 金百九十九萬二千八百八十六圓四錢八厘
- 第一項 警視廳 金二十九萬三千八百三十九圓十三錢九厘
- 第二項 府各縣 金百六十萬八千三百四十六圓九十錢九厘
- 第十一款 集治監 金四十二萬五千四百七十七圓六十九錢六厘
- 第一項 東京集治監 金七萬九千九百九十四圓七十七錢四厘
- 第二項 宮城集治監 金六萬七千七百七十二圓六十八錢一厘
- 第三項 三池集治監 金三萬七千九百六十七圓四十一錢七厘
- 第四項 樺戶集治監 金九萬六千六百六十八圓三錢七厘
- 第五項 空知集治監 金九萬三千七百七圓九十六錢四厘
- 第六項 釧路集治監 金八千九百十六圓二十四錢三厘

- 第七項 兵庫假留監 金二萬三千五百五十一圓三十六錢九厘
- 第八項 在府縣獄囚徒費 金一萬八千五百九十九圓二十一錢一厘
- 第十二款 神社費 金十二萬七千五百八十二圓九十二錢九厘
- 第十三款 備荒儲蓄 金九十九萬圓
- 第十四款 雜支 出 金二十九萬四千二百五十九圓十九錢九厘
- 第一項 皇城周圍修繕費 金八十二圓七十五錢
- 第二項 勳章賞牌及賜金費 金二萬五千五百八十五圓八十四錢七厘
- 第三項 雜出 金二十七萬二千五百九十四圓六十錢二厘

經常歲出合計金四千七百六十四萬三千三十六圓七十四錢六厘

臨時歲出

- 第一款 興業費 金三十六萬六百六十七圓四十七錢七厘
- 第一項 大藏省鑛山 金四萬三千四百八圓九十三錢一厘
- 第二項 陸軍省砲兵工廠 金四萬八千七百圓
- 第三項 海軍省造船 金二十四萬二千二百二十五圓八十八錢五厘
- 第四項 農商務省造船 金四萬二千二百九十九圓九十七錢五厘
- 第五項 遞信省電信 金二萬二千二百二十五圓六十八錢六厘
- 第二款 鐵道建設費 金一萬二千七百圓

- 第一項 東京橫濱間 金一万二千七百圓
- 第三款 朝鮮事件費 金六千九百五十五圓四錢四厘
- 第四款 雜支 出 金七百六十九萬二千四百五十三圓九十九錢二厘
- 第一項 假皇居御造營費 金五十萬圓
- 第二項 軍艦製造費 金二百四十一萬七千六百七十八圓二十四錢
- 第三項 砲臺建築費 金四十八萬六千三百三十四圓七十八錢七厘
- 第四項 神宮式年御造營費 金九千六百八十五圓十六錢二厘
- 第五項 紙幣改造費 金一万九千七百八十八圓三十七錢四厘
- 第六項 金札引換無記名公債證書製造費 金千九百九十二圓八十八錢
- 第七項 貨幣鑄造基金 金百二十五萬三千四百七十錢
- 第八項 西南從軍畫一時賜金 金一万千八百圓
- 第九項 日本鐵道會社補助金 金七萬二千四百二十一圓十七錢八厘
- 第十項 陸軍省砲兵工廠營業資本 金三萬七千七百七十四圓十八錢七厘
- 第十一項 海軍省造船營業資本 金三萬九千六百六十八圓五十二錢八厘

- 第十二項 農商務省千住製絨所營業資本 金六萬九千二百四十六圓六十錢四厘
- 第十三項 舊工部省殘務費 金八千二百九十七圓四十五錢九厘
- 第十四項 雜出 金二百七十六萬五千五百七十七圓四十九錢三厘
- 第五款 紙幣銷却元資繰入 金五百四十萬圓
臨時歲出合計金千三百四十七萬二千二百七十六圓五十一錢三厘
歲出總計金六千一百一十一萬五千三百三十三圓二十五錢九厘
- 文部省告示第十九號 明治廿二年十月九日
石川縣縣立石川縣農學校
- 右ハ明治二十二年(一月)法律第一號徵兵令第十一條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム
- 縣令第六十六號 明治廿二年十月十一日
- 明治十三年(四月)甲第八十六號布達ヲ廢ス
- 勅令 明治二十二年十月十二日
朕臨時帝國議會事務局設置ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
- 御名 御璽
- 勅令第百十二號

- 二 妻アル者
- 三 身代限りノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者
- 四 輕罪以上ノ刑ニ處セラレタル者及ヒ賭博犯ノ處分ヲ受ケシ者
- 第二條 年齢ヲ算スルハ士官候補生ハ二十三年十一月三十日幼年學校生徒ハ同年八月三十一日ヲ以テス
- 第三條 士官候補生並ニ幼年學校生徒入隊及ヒ入校ノ上ハ士官候補生ハ陸軍各兵科現役士官補充條例第三十一條幼年學校生徒ハ同校條例第二十一條ニ依リ自己ノ情願ヲ以テ免役及ヒ退校又ハ歸省スルヲ許サス
- 第四條 諸給與ハ士官候補生ハ陸軍各兵科現役士官補充條例第十九條ニ據リ一切官費トシ幼年學校生徒ハ幼年學校條例第十五條ニ基キ戰死シタル(平時公務ノ爲メ不幸ニ死亡スル者モ亦之レニ準ス)將校並ニ之ニ相當スル高等官ノ孤兒ニハ一切官給トシ且若干ノ手當金ヲ給ス其他ノ者ニ在テハ修學費用及ヒ寢具ヲ除クノ外一切ノ費用(一箇月金七圓五十錢宛)ハ之ヲ上納セシメ或ハ詮議ニ依リ官費又ハ半官費(一箇月金三圓七十五錢上納)ト爲スコトアリ
- 第五條 華士族平民ヨリ士官候補生ヲ志願スル者ハ第一號第四號第五號書式ニ幼年學校生徒志願者ハ第三號第四號及ヒ第五號書式ニ照準シ願書ニ履歷書及ヒ誕生證書ヲ添ヘ之ヲ地方官ニ差出シ地方官ハ陸軍各兵科現役士官補充條例第七條並ニ幼年學校生徒召募條例第四條ノ手續ヲ爲スヘシ

- 第六條 陸軍部内ヨリ士官候補生ヲ志願スル者ハ第二號及ヒ第四號書式ニ照準シ願書ニ履歷書ヲ添ヘ順序ヲ經テ師團長ニ差出シ師團長ハ陸軍各兵科現役士官補充條例第六條ノ手續ヲ爲スヘシ但本人ノ名簿及ヒ定例ノ考科表ヲ添フヘシ
- 第七條 一年志願兵ノ出願手續ハ陸軍一年志願兵條例細則ニ準據スヘシ
- 第八條 各師團長ハ士官候補生及ヒ幼年學校生徒志願者ノ願書並ニ一年志願兵志願者中學校試驗ヲ受クヘキ人名書ヲ學科試驗場毎ニ區分シ明治二十三年三月十日迄ニ監軍ニ進達スヘシ
- 第九條 士官候補生ハ各種兵隊ヲ企望スルコトヲ得ル然ルトキハ第六號書式ニ照準シ之ヲ願書ニ添フヘシ
- 第十條 外國語學ノ試驗候補生ハ第七號幼年學校生徒ハ第八號書式ニ照準シ之ヲ願書ニ添フヘシ
- 第十一條 華士族平民ヨリ士官候補生及ヒ幼年學校生徒ヲ志願スル者ノ願書ニハ父兄親族若シハ其他一家ヲ爲スル者ニテハ第十號書式ニ照準シテ調製スヘシ
- 第十二條 幼年學校生徒志願者ニシテ入校ヲ命セラレタル者ハ父兄親族若シハ其他一家ヲ爲スル者ニテハ第十號書式ニ照準シテ調製スヘシ
- 第十三條 幼年學校生徒志願者ニシテ入校ヲ命セラレタル者ハ父兄親族若シハ其他一家ヲ爲スル者ニテハ第十號書式ニ照準シテ調製スヘシ
- 第十四條 幼年學校生徒志願者ニシテ入校ヲ命セラレタル者ハ父兄親族若シハ其他一家ヲ爲スル者ニテハ第十號書式ニ照準シテ調製スヘシ
- 第十五條 幼年學校生徒志願者ニシテ入校ヲ命セラレタル者ハ父兄親族若シハ其他一家ヲ爲スル者ニテハ第十號書式ニ照準シテ調製スヘシ
- 第十六條 幼年學校生徒志願者ニシテ入校ヲ命セラレタル者ハ父兄親族若シハ其他一家ヲ爲スル者ニテハ第十號書式ニ照準シテ調製スヘシ
- 第十七條 幼年學校生徒志願者ニシテ入校ヲ命セラレタル者ハ父兄親族若シハ其他一家ヲ爲スル者ニテハ第十號書式ニ照準シテ調製スヘシ
- 第十八條 幼年學校生徒志願者ニシテ入校ヲ命セラレタル者ハ父兄親族若シハ其他一家ヲ爲スル者ニテハ第十號書式ニ照準シテ調製スヘシ
- 第十九條 幼年學校生徒志願者ニシテ入校ヲ命セラレタル者ハ父兄親族若シハ其他一家ヲ爲スル者ニテハ第十號書式ニ照準シテ調製スヘシ
- 第二十條 幼年學校生徒志願者ニシテ入校ヲ命セラレタル者ハ父兄親族若シハ其他一家ヲ爲スル者ニテハ第十號書式ニ照準シテ調製スヘシ

第十三條 志願者願書差出後入隊若シハ入校マテノ間ニ於テ轉任轉職若シハ轉籍改姓名犯罪等身上ニ異動アルキハ出願ノ手續ニ從ヒ順次監軍部ニ届出ツヘシ又保證人事故アリテ其保證ヲ辭スルカ或ハ死亡セシトキハ志願者ノ入隊若シハ入校ノ前後ヲ問ハス必ス其代人ヲ撰定シ前同様届出ツヘシ

第十四條 幼年學校生徒ノ保證人ハ第九號或ハ第十號入校證書書式中ニ示ス如ク生徒身上ノ儀ハ何事ニ依ラス總テ引受クヘキモノナルヲ以テ若シ生徒修學中諸器具ヲ破損シ或ハ紛失シ本入自償ノ資力ニ乏シキトキハ必ス保證人ヨリ完納セシムヘシ

第十五條 學科試驗場ハ左ノ各地ニ設クヘシ但シ某試驗場ノ人員寡少ナルトキハ其試驗場ヲ開設セシテ最寄試驗場ニ合併スルコトアルヘシ

第一師管 東京 佐倉 國府臺

第二師管 仙臺 青森 新發田

第三師管 名古屋 金澤

第四師管 大坂 姫路

第五師管 廣島 松山

第六師管 熊本 福岡

第十六條 學科試驗ハ二十三年四月二十一日ヨリ開カス師團司令部ハ學科試驗前ニ於テ身體檢査ノ時日ヲ定メ之ヲ其部下各隊及ヒ管内ノ陸軍諸官廨並ニ地方廳ニ通達シ志願者ヲ檢査地ニ

召集シ其地所在ノ軍醫ヲシテ身體檢査ヲ爲サシメ合格者ノミヲ滞在セシメ試驗委員ノ到着ヲ待テ第十一號書式ノ志願者連名簿ヲ交附スヘシ

第十七條 師團司令部旅團司令部若シハ大隊區司令部ニ在テハ試驗委員到着前ニ學科試驗場ヲ設ケ之カ準備ヲ爲シ置クヘシ且ツ試驗委員到着ノ上試驗場ノ監視及試驗事務整頓等ノ爲メ助手ヲ要スルトキハ試驗委員ノ請求ニ應シ士官及下士若干名ヲ之ニ附屬セシムヘシ

第十八條 陸軍部内ヨリ士官候補生ヲ志願スル者ニシテ檢査地外ニ在ル者ハ其地ノ軍醫ヲシテ身體檢査ヲ爲サシメ其合格者ノミヲ學科試驗時日ニ先チ學科試驗場ニ到ラシムヘシ此者ニ在テハ旅費日當金參拾錢滞在日當金二十八錢ヲ支給スヘシ

第十九條 總テ志願者ハ必ス檢査時日ニ先チ指示ノ檢査地ニ到着シ其地師團司令部旅團司令部若シハ大隊區司令部ニ書面ヲ以テ止宿所等ヲ届出ツヘシ檢査地ニ住居スル志願者モ亦之レニ準ス

第二十條 總テ受験者ノ服裝ハ陸軍部内ノ志願者ハ羅紗服華士族平民ヨリノ志願者ハ洋服若シハ袴着用タルヘシ

第二十一條 華士族平民ヨリノ志願者ニ在テハ檢査地ノ往復並ニ滞在費等ハ一切自辨タルヘシ
第二十二條 檢査時日ニ際シ志願者中病氣又ハ事故等ニ依リ當日出場ヲ缺ク者アルモ之カ爲メ更ニ檢査ヲ行フコトナシ

第二十三條 士官候補生及ヒ幼年學校生徒志願者ニシテ合格ノ上入隊及ヒ入校ヲ命スル者ノ旅

費ハ自辨クルヘシ

第一號書式 (用紙美濃紙以下之ニ同シ)

士官候補生願

某 儀

此度陸軍出身志願ニ付士官候補生奉願候間御採用被下度御許可相成入隊ノ上ハ御規則嚴重ニ
相守誓テ陸軍ニ從事可仕萬一陸軍各兵科現役士官補充條例第三十二條及ヒ三十三條ニ當該シ
士官候補生ヲ免セラレ候共決シテ違背不仕候依テ保證人連署此段奉願候也

府(縣)何族(平民)職業

戶主ニアラサレハ誰子弟等

姓 名 印

何國何郡(市)何町(村)產
何國何郡(市)何町(村)何番地住(全戶寄留)

年 號 月 日 生
明治二十三年十一月何年何箇月

保證人

府(縣)何族(平民)
何國何郡(市)何町(村)何番地往(寄留)

姓 名 印

年 號 月 日

同同何第何師團長(爵)姓 名 殿

前書之趣調査候處相違無之候也

府(縣)郡(市)長 姓 名 印

前書之通相違無之候也

地方長官 官 姓 名 印

第二號書式

士官候補生願

此度士官候補生志願候間御採用被下度此段奉願候也

隊號(所管)

年 號 月 日

官 姓 名 印

年 號 月 日 生
明治二十三年十一月何年何箇月

第何師團長(爵)姓 名 殿

第三號書式

陸軍幼年學校生徒願

某 儀

此度陸軍出身志願ニ付幼年學校生徒奉願候間御採用被下度御許可相成入校ノ上ハ御規則嚴重
ニ相守可申候本人身上之儀ハ何事ニ依ラス身元保證人ニ於テ一切引受可申依テ身元保證人連
署此段奉願候也

府(縣)何族(平民)職業
戸主ニアラサレハ誰子弟等

姓 名 印

年 號 月 日 生

明治二十三年八月何年何箇月

何國何郡(市)何町(村)何番地住(全戸寄留)

身元保證人

府(縣)何族(平民)

何國何郡(市)何町(村)何番地住(寄留)

姓 名 印

年 號 月 日

同 同

同

監軍(爵)姓 名殿

前書之趣調査候處相違無之候也

府(縣)郡(市)長 姓 名 印

名 印

前書之通相違無之候也

地方長官

官 姓 名 印

第四號書式(書式ニ示ス外履歷ニ係ル者アルキハ悉ク記載スヘシ)

府(縣)何族(平民)職業

戸主ニアラサレハ誰子弟等

何年 種痘(天然痘)

姓 名

年 號 月 日 生

明治廿三年十一月(八月)何年何箇月

一 祖父母 何某存亡

幼年學校生徒志願者ニシテ將校並ニ相當官ノ戰死或ハ公務ニ依リ死亡シタル者ノ孤兒ハ父何官姓名何年何月何日戰死何々ニ依リ死亡

一 父母(養父母) 同 同上

此他兄弟姉妹等在籍ノ者ハ皆之ニ準シテ記載スヘシ

一 何年月日任何官(補何等出仕)(出仕被免)何省(府)(縣)等

一 何年月日何職被申付(何職被免)何省(府)(縣)等

一 何年月日ヨリ何年月日マテ何々研究(商業)ノ爲メ何國(外國ヲ云)ニ在留

一 何年月日何ニ依テ賞典下賜ル

右之通相違無之候也

本人

保證人 姓名印

同

陸軍部内ノ士官候補生志願ニ在テハ
保證人ヲ要セス

第五號書式

誕生證書

府(縣)何國何郡(市)何町(村)何番地住(寄留)

何族(平民)職業
戸主ニアラザレハ誰子弟等

姓名

年號月日出生

右之通誕生年月日戸籍簿ニ照シ相違無之候也

本籍市(町)(村)長姓名印

第六號書式

某儀

近衛(何師團)何兵(歩兵、騎兵、砲兵、工兵)第何聯(大)隊へ入隊企望致候也

姓名

年號月日

第七號書式

某儀

何國(佛、獨、英)語學御試驗相受可申候也

姓名

年號月日

第八號書式

某儀

何國(佛、獨、英)語學御試驗希望致候也

姓名

年號月日

第九號書式 證券印紙貼用

陸軍幼年學校生徒入校證書

某儀

此度陸軍出身志願ニテ幼年學校生徒入校御許可相成候ニ付テハ御規則嚴重ニ相守誓テ陸軍ニ
從事可仕且本人身上ノ儀ハ何事ニ依ラス身元保證人ニ於テ引受可申依テ保證人連署證書如斯
候也

本人

府(縣)何族(平民)職業

戸主ニアラサレハ誰子弟等

何國何郡(市)何町(村)產
何國何郡(市)何町(村)何番地住(全戸寄留)

姓 名 印

年 號 月 日 生
明治二十三年八月何年何箇月

身元保證人

府(縣)何族(平民)

何國何郡(市)何町(村)何番地住(寄留)

姓 名 印

年 號 月 日

同 同

監軍(爵)姓 名殿

前書之趣調查候處相違無之候也

府(縣)郡(市)長 姓 名 印

地方長官 官 姓 名 印

第十號書式 證券印紙貼用

陸軍幼年學校生徒入校證書

某 儀

此度陸軍出身志願ニテ幼年學校生徒入校御許可相成候ニ付テハ御規則嚴重ニ相守リ誓テ陸軍ニ從事可仕且入校中ノ費用ハ御規則ノ通上納可致ハ勿論其他本人身上ノ儀ハ何事ニ依ラス身元保證人ニ於テ引受可申依テ保證人連署證書如斯候也

本人

府(縣)何族(平民)職業

戸主ニアラサレハ誰子弟等

姓 名 印

何國何郡(市)何町(村)產
何國何郡(市)何町(村)何番地住(全戸寄留)

年 號 月 日 生
明治二十三年八月何年何箇月

身元保證人

府(縣)何族(平民)

何國何郡(市)何町(村)何番地住(寄留)

姓 名 印

年 號 月 日

同 同

同

監軍(爵)姓 名殿

前書之趣調查候處相違無之候也

前書之通相違無之候也

第十一號書式

士官候補生(幼年學校生徒)(一年志願兵)志願者連名簿

身體合格

府(縣)郡(市)長 姓名印
地方長官 姓名印

兵種隊號

官 姓名
何等兵卒 姓名

府(縣)何族(平民)

姓 名

同

同

計何名

身體不合格

兵種隊號

官 姓名
何等兵卒 姓名

府(縣)何族(平民)

姓 名

同

同

計何名

事故

兵種隊號

官 姓名

病氣ニ付不參

府(縣)何族(平民)

姓 名

出願取消願ニ付不參

計何名

總計何名

一年志願兵連名簿ニハ各人姓名上ニ所轄旅團號ヲ記入スヘシ

明治二十三年陸軍各兵科現役士官候補生志願者學科試驗格例

書讀

白文訓讀 (日本政記、日本外史)

文作

漢字交リ文 叙、記、論、說

算術	代數	平面幾何學、立体幾何學、平面三角學	地學	本邦、本邦比隣ノ諸國(支那朝鮮)亞細亞洲大意(新中地理書編 山田行元 述)	物理學	物性、力、動、引力、水、氣、音、熱學等(增訂士都華氏物理學原 大學理學部 版)	化學	非金屬元素及其普通ナル化合物ノ性質、製法等(羅斯柯氏化學 文部省 行)	博物學	動物學(中學動物學 宮原直堯纂譯 動物通解 佐々木忠次郎 合譯) 人體生理學(カットル氏 生理養生論 小林義直譯)	歷史	本邦史(正續皇朝史略) 支那史(十八史略、續十八史略) 萬國史(萬國歷史 天野爲之著)	書畫	草木、器具、家屋、人物等	圖學	直角線、平行線、角、三角形、直線比例、圓線、圓線區分、圓內內切正多邊形、同形圖、面積比例、伸圖、縮圖、十分比例尺畫成法、同積(等積)圖、分割圖、平面畫形影等
----	----	-------------------	----	---------------------------------------	-----	---	----	-------------------------------------	-----	---	----	---	----	--------------	----	--

外國語	佛、ノ内、翻譯、會話	備考	一 學科問題ハ一科目毎ニ若干ノ問題ヲ與ヘ總テ之ヲ筆答セシム 二 歷史ハ著名ナル事蹟戰役或ハ人物等ニ就テ問題ヲ與フ 三 數學ハ原理ト應用ト二種トス 四 科目ノ下括弧中ニ記スル書目ハ受験者參考ノ爲メニ程度ヲ示スモノトス 五 學科試験ハ體格檢査ニ合格スル者ノミ之ヲ行フモノトス 六 試驗場ヘ會スルニ字書(外國語學受験ノ時ハ)ハ勿論一切ノ書籍草案等ヲ携帶スルヲ但シ要用ノ筆墨硯白紙小刀及ヒ圖引具ハ之ヲ持參スルモノトス 七 試験ハ各科目毎ニ点数ヲ與ヘ總点数ニ依リ人員ノ列序ヲ定ム 八 試驗格例中其ノ一科目ニ於テ点数合格セサル者ハ採用セス 九 但シ外國語學ハ此限ニ非ス 十 尚工兵科ヲ企望スル者ニ在テハ試驗格例ニ示スノ外更ニ高等代數、代數幾何、平面幾何、高等幾何ノ試験ヲ爲ス 明治二十三年陸軍幼年學校生徒志願者學科試験格例	書讀	白文訓讀(日本政記)	文作	漢字交リ文 書牘、記事文	算術	代數 整數四則、分數四則、一元一次方程式	地學	本邦、本邦比隣ノ諸國(支那朝鮮)
-----	------------	----	---	----	------------	----	--------------	----	----------------------	----	------------------

物理學	化學	歷史	學書	學圖	外國語學	備考
物理學上緊要ナル現象及定律等 (上都物理小學 小林六郎譯)	普通化學上ノ現象、緊要ナル元素等 (羅斯小化學書 市川盛三郎譯)	本邦史 (正皇朝史略、日本小史 大槻文彦編) 支那史 (正十八史略)	草木、器具、家屋等	直角線、平行線、角、三角形、直線比例、四邊形、不正多角形、圓線、圓線區分、圓內內切正多邊形等	佛、獨、英ノ内 翻譯、會話	<p>一 學科問題ハ一科目毎ニ若干ノ問題ヲ與ヘ總テ之ヲ筆答セシム</p> <p>二 歷史ハ著名ナル事蹟、要役或ハ人物等ニ就テ問題ヲ與フ</p> <p>三 數學問題ハ原理ト應用ノ二種トス</p> <p>四 外國語學ハ希望者ノミ之ヲ試驗ス</p> <p>五 科目ノ下括弧中ニ記スル者ハ受驗者參考ノ爲メニ程度ヲ示スモノトス</p> <p>六 學科試驗ハ體格檢査ニ合格スル者ノミ之ヲ行フモノトス</p> <p>七 試驗場ニ會スルニ字書(外國語學受驗者ハ之ヲ携フルヲ得)ハ勿論一切ノ書籍草案等ヲ携帶スルヲ許サス</p> <p>八 但シ要用ノ筆、墨、硯、白紙、小刀及ヒ圖引具ハ之ヲ持參スルモノトス</p> <p>九 試驗ハ各科目毎ニ点数ヲ與ヘ總テ点数ニ依リ人員ノ列序ヲ定ム</p> <p>十 試驗格例中其ノ一科目ニ於テ点数合格セザレハ採用セズ</p> <p>但シ外國語學ハ此限ニアラス</p> <p>數學ヲ分テ算術ヲ一科目代數ヲ一科目トス</p>

明治二十三年陸軍一年志願兵志願者學科試驗及合格々例

科目	試	格	各科合格点	合格点
讀書	日文訓讀 (日本政記、日本外史)		十四点	四十三點
作文	漢字交リ文 (記事、論說)		三点	
算術	算術 (應用)		五点	
代數	代數 (應用)		五点	
幾何	平面幾何 (原理或ハ應用)		五点	
地理學	本邦、本邦比隣ノ諸國 支那 朝鮮 (筆答或ハ暗射圖) (新中地理書 山田行元 撰述)		五点	
歷史	本邦 (正續皇朝史畧) 支那 (十八史略、續十八史略) 萬國 (萬國歷史 天野爲之著)		三点	
學書	草木、器具、家屋等		三点	
備考	<p>一 學科問題ハ一科目毎ニ若干ノ問題ヲ與ヘ之ヲ筆答セシム</p> <p>二 歷史ハ著名ナル事蹟、戰役或ハ人物等ニ就テ問題ヲ與フ</p> <p>三 科目ノ下括弧中ニ記スル者ハ受驗者參考ノ爲メニ程度ヲ示スモノトス</p> <p>四 學科試驗ハ體格檢査ニ合格スル者ノミ之ヲ行フモノトス</p>			

形		盛岡										米澤					
寒河江		沼宮内		郡山		花巻		黒澤尻		横田		福岡		宮古		磐井	
左澤		沼宮内出張所管内一圓		郡山出張所管内一圓		花巻出張所管内一圓		新黒澤尻雨出出張所管内一圓		横田出張所管内一圓		久慈		釜石		岩谷堂	
寒河江両出張所管内一圓		沼宮内出張所管内一圓		郡山出張所管内一圓		花巻出張所管内一圓		新黒澤尻雨出出張所管内一圓		横田出張所管内一圓		久慈出張所管内一圓		釜石出張所管内一圓		岩谷堂出張所管内一圓	
五月十日		七月四月		七月四月		七月五月		七月五月		七月六月		七月七月		七月七月		七月七月	
各二十一日間		各十四日間		各十四日間		各十四日間		各十四日間		各十四日間		各十四日間		各十四日間		各十四日間	

田		秋									
横手		大館		本庄		秋田		船越		下此川	
今宿		花輪		鷹巣		矢島		龜田		下此川	
今宿出張所管内一圓		花輪出張所管内一圓		鷹巣出張所管内一圓		矢島出張所管内一圓		龜田出張所管内一圓		下此川出張所管内一圓	
八月四月		八月四月		八月四月		八月四月		八月四月		八月四月	
各七日間		各七日間		各七日間		各七日間		各七日間		各七日間	

○海軍省告示第十四號
 本年(四月)勅令第五十六號海軍下士服役條例第四條ニ依リ現役下士ノ免役ヲ願フ者ハ願書ニ市町村長又ハ區長ノ與テ證明印ヲ受ケ該所スル鎮守府ニ願出ツヘシ
 ○司法省告示第十一號
 明治二十二年十月十一日
 德島福島兩始審裁判所管内治安裁判所出張所裁判開廷期日本年ニ限リ左ノ通施行ス

始審治安		開延場所	管轄區域	開延日期
福	桑折	桑折出張所管内一圓	十月	十日間
	川俣	川俣出張所管内一圓	十一月中	十日間
	二本松	二本松出張所管内一圓	十月	十日間
	三春	三春出張所管内一圓	十一月	七日間
	中村	南新田出張所管内一圓	十月	七日間
	郡山	郡山出張所管内一圓	十一月中	十日間
	須賀川	須賀川出張所管内一圓	十月	十日間
	石川	石川出張所管内一圓	十一月	七日間
	棚倉	棚倉出張所管内一圓	十一月	七日間
	植田	植田出張所管内一圓	十月	七日間
平	小濱	小濱出張所管内一圓	十月	七日間
	喜多方	喜多方出張所管内一圓	十月	十日間

鳴		若松	坂下	野澤	川口	田島
		坂下出張所管内一圓	野澤出張所管内一圓	川口出張所管内一圓	田島出張所管内一圓	
		十一月中	十一月	十一月	十一月	
		十日間	七日間	七日間	七日間	

○海軍省告示第十四號

明治二十二年十月二十二日

本年(四月)勅令第五十六號海軍下士服役條例第四條ニ依リ現役下士ノ免役ヲ願フ者ハ願書ニ市町村長又ハ區長ノ與書證印ヲ受ケ其屬スル鎮守府ニ願出ツヘシ

○大藏省令第十四號
 明治二十二年十月二十五日
 本年九月法律第二十四號酒造稅則施行細則左ノ通定ム

酒造稅則施行細則

第一條 酒造營業ノ免許ヲ附ントスル者ハ其製造場ノ倉庫又ハ建物ノ棟數ト製酒ノ種類トヲ問ハス都テ其一區域ヲ以テ一箇所トシ願出ヘシ但一區域外ノ倉庫建物ト雖トモ檢査濟ノ酒類又ハ酒造用器械ヲ藏置スルニ止マルモノハ酒造場ノ附屬トスルコトヲ得ヘシ

第二條 引續酒造營業ヲ爲サントスル者ハ毎年十月一日マテニ願出ヘシ

第三條 二人以上資力ヲ合シ組合營業ヲ爲サントスル者ハ其組合員ノ連名ヲ以テ願出會社ヲ設ケ營業ヲ爲サントスル者ハ頭取ノ名ヲ以テ願出ツヘシ

第四條 酒類ノ火入洋引ハ造石検査ノ後之ヲ爲スヘシ

第五條 検査済ノ酒類並古酒買入酒等ヲ粕漉セントスルトキハ其時々届出検査ヲ受クヘシ但製成ノ上増石スルモノハ其石數ニ課税スルモノトス

第六條 營業中都合ニ依リ未製成ノ酒類ヲ販賣スルモノハ其旨届出検査ヲ受クヘシ

第七條 税則第十六條非常ノ損害ニ罹リタル酒類アル場合ハ其實況ヲ證明シ直ニ官廳ニ届出ツヘシ

第八條 造石税納期以前免許鑑札ヲ買賣讓與シ又ハ廢業スル者ハ検査済酒類ニ係ル造石税ハ其節之ヲ完納スヘシ

附則

第九條 第二條願出ノ期限ハ本年ニ限り來ル十一月三十日迄トス

○宮城縣告示第五十一號 明治廿二年十月廿六日

明治廿二年度地方税支出豫算土木費市町村土木補助費縣會議諸費及收入豫算追加ノ爲メ來ル十一月八日ヨリ臨時縣會ヲ開キ同會閉會ノ翌日ヨリ本年通常縣會ヲ開ク

○文部省訓令第四號 明治二十二年十月二十五日

尋常師範學校生徒中不都合ノ行爲アルヲ以テ退學ヲ命スルモノアルトキハ在學中給與シタル學資ヲ償還セシムヘシ

○文部省令第七號 明治廿二年十月廿五日

明治十八年八月以後東京師範學校ニ於テ小學師範學科卒業ノ者又ハ明治十九年四月以後高等師範學校ニ於テ舊東京師範學校所定ノ小學師範學科卒業ノ者ニ授與シタル卒業證書ハ其證書面ニ記載ノ日ヨリ七箇年間小學校教員免許狀ト同一ノ効ヲ有スルモノトス
但有効ノ期滿ニ至リタル者ハ明治二十年(八月)文部省令第六號ニ準據スルコトヲ得又本文ノ證書ヲ有スル者ニシテ明治十九年(六月)文部省令第十二號小學校教員免許規則第十二條ノ一項若クハ數項ニ纏ル、若ハ本文教員タルノ効力ヲ失ハシム

○文部省令第八號 明治二十二年十月二十五日

明治十九年(五月)文部省令第九號尋常師範學校ノ學科及其程度第一條中家事ノ二字及同條但書全文第二條中家事ニ關スル項第五條授業時間配當表中家事及其授業時數並ニ女生徒ニ課スル音樂體操ノ時數ヲ删除シ更ニ尋常師範學校ノ女生徒ニ課スヘキ學科及其程度ヲ定ムルノ如シ

第一條 尋常師範學校ノ女生徒ニ課スヘキ學科ハ倫理教育國語數學地理歷史理科家事習字圖書

音樂體操トス

第二條 各學科ノ程度左ノ如シ

倫理

八倫道徳ノ要旨

教育

總論智育德育體育ノ理學校ノ設置編制管理ノ方法教育ニ關スル憲邦法令教授ノ原理各學科ノ教授法及實地授業

國語 日本ノ文法文學ノ要略及作文

數學 算算ハ命位記數四則分數小數比例利息算自乘法開平開立求積法球算ハ加減乘除及四則雜題 幾何ノ大意

地理歷史 地理ハ總論日本地誌外國地誌ノ要略及地文ノ概論

理科 歷史ハ日本歷史及外國歷史ノ要略

博物生理及物理化學ノ要略

家事 衣食住作法育兒等ニ關スル事項簿記載總

習字圖書 習字ハ楷書行書草書

圖畫ハ自在畫法及用器畫法ノ要略

音樂 單音唱歌複音唱歌樂器用法及音樂上ノ名稱記號旋律和聲拍子等ノ要略

體操 普通體操

第三條 尋常師範學校ノ女生徒ノ修業年限ヲ三箇年トシ 學年ヲ以テ一學級トス

第四條 尋常師範學校ノ女生徒ノ授業時限ハ一年四十週一週三十一時以上トス

第五條 各學科授業ノ時間配當ハ左表ニ依ルヘシ

尋常師範學校ノ女生徒ノ課スヘキ學科授業時間配當表

	第一	第二	第三	
	年	年	年	
倫理	一	一	一	一
教育	三	五	六	二八
國語	五	四	四	
數學	三	三	三	
地理歷史	四	二	二	

理科	博物生理	二					
	物理化學	二					
家事	衣食住ニ關スル事	一					
	作法育兒ニ關スル事				一		
習字 圖畫	裁縫	三			三		二
	簿記						二
音 樂	習字	四			三		三
	圖畫						二
體 操	音 樂	二			二		二
	體 操	三			三		三

○文部省令第九號 明治二十二年十月二十五日

明治十九年(五月)文部省令第十號尋常師範學校生徒募集規則第一條第三項ヲ左ノ通改ム

一男子ハ齡十七年以上二十年以下女子ハ齡十五年以上二十年以下ノモノ

○文部省令第十號 明治二十二年十月二十五日

明治十九年(五月)文部省令第十一號尋常師範學校卒業生服務規則第一條中「十箇年」ノ三字ヲ「男子ハ五箇年女子ハ二箇年間」ト改ム

男子ハ「十箇年女子ハ五箇年」ト改メ第二條本文及但書中「五箇年間」ノ四字ヲ「男子ハ五箇年間女子ハ二箇年間」ト改ム

○文部省令第十一號 明治二十二年十月二十五日

明治十九年(六月)文部省令第十二號小學校教員免許規則第一條中「丁年以上ニシテ」ノ七字ヲ「男子ハ丁年以上女子ハ齡十八年以上ニシテ」ト改メ且左ノ但書ヲ加フ

但尋常師範學校女子ノ卒業生及小學校教員學力檢定試驗ニ及第シタル女子ニハ尋常小學校(男兒女兒)ノ教員免許狀若シハ高等小學校(女兒)ノ教員免許狀ヲ授與ス

○逓信省令第六號 明治二十二年十月二十九日

本年十一月三十日限り郵便五厘葉書二厘五毛帶紙一錢帶紙ヲ廢止シ及左記郵便切手葉書帶紙及封皮ノ使用ヲ禁止シ其切手葉書帶紙封皮所持ノモノハ本年十二月三十一日迄ニ一等郵便電信局

一等郵便局 引換方請求スヘシ

一四十八文切手(薄赭色) 明治四年三月發行

一半錢切手(薄赭色) 明治五年二月發行

一半錢切手(薄赭色) 明治五年九月發行

一半錢切手(淡黑色) 明治八年二月第十六號布告同年同月發行

一百文切手(青色) 明治四年三月發行

一壹錢切手(青色) 明治五年二月發行

一壹錢切手(青色) 明治五年七月發行

一壹錢切手(薄赭色) 明治八年二月第十六號布告同年同月發行

- 一壹錢切手(黑色) 明治九年五月第七十一號布告同年同月發行
- 一壹錢切手(代赭色) 明治十二年十月第四十四號布告同年同月發行
- 一貳百文切手(赤色) 明治四年三月發行
- 一貳錢切手(赤色) 明治五年二月發行
- 一貳錢切手(黃色) 明治六年六月第八十八號布告同年同月發行
- 一貳錢切手(黃綠色) 明治九年五月第七十一號布告同年同月發行
- 一貳錢切手(桔梗色) 明治十二年十月第四十四號布告同年同月發行
- 一三錢切手(濃橙黃色) 明治十二年六月第二十四號布告同年同月發行
- 一四錢切手(淡紅色) 明治六年三月第二百二十號布告同年同月發行
- 一四錢切手(綠色) 明治八年二月第十六號布告同年同月發行
- 一四錢切手(老綠色) 明治九年六月第九十二號布告同年同月發行
- 一五錢切手(萌黃色) 明治九年三月第三十二號布告同年同月發行
- 一五百文切手(萌黃色) 明治四年二月辨官達同年三月發行
- 一五錢切手(代赭色) 明治九年六月第九十二號布告同年同月發行
- 一六錢切手(嬌栗色) 明治六年十一月第三百九十五號布告同七年一月發行
- 一六錢切手(桃黃色) 明治八年二月第十六號布告同年同月發行

- 一六錢切手(桃黃色) 明治十年六月第四十七號布告同年同月發行
- 一八錢切手(嬌栗色) 明治十年十一月第七十八號布告同年同月發行
- 一十錢切手(綠色) 明治五年九月發行
- 一十錢切手(青色) 明治八年二月第十六號布告同年同月發行
- 一十錢切手(青色) 明治十年六月第四十七號布告同年同月發行
- 一十二錢切手(淡紅色) 明治八年一月第一號布告同年同月發行
- 一十二錢切手(淡紅色) 明治十年六月第四十七號布告同年同月發行
- 一十五錢切手(淡紫色) 明治八年一月第一號布告同年同月發行
- 一十五錢切手(綠色) 明治十年六月第四十七號布告同年同月發行
- 一二十錢切手(紫色) 明治五年九月發行
- 一二十錢切手(紅色) 明治八年二月第十六號布告同年同月發行
- 一二十錢切手(濃青色) 明治十年八月第十九號布告同年同月發行
- 一三十錢切手(淡黑色) 明治五年九月發行
- 一三十錢切手(紫色) 明治八年二月第十六號布告同年同月發行
- 一三十錢切手(紫色) 明治十年八月第五十九號布告同年同月發行
- 一四十五錢切手(紅色) 明治八年一月第一號布告同年同月發行
- 一四十五錢切手(深紅色) 明治十年八月第五十九號布告同年同月發行

- 一五十錢切手(深紅色) 明治十二年六月第二十四號布告同年同月發行
- 一壹錢角封皮(青色) 明治六年十一月第三百八十九號布告同年十二月發行
- 一壹錢角封皮(青色) 明治七年二月第二十四號布告同年四月發行
- 一貳錢角封皮(黃色) 明治六年十一月第三百八十九號布告同年十二月發行
- 一貳錢角封皮(黃色) 明治七年二月第二十四號布告同年四月發行
- 一四錢角封皮(淡紅色) 明治六年十一月第三百八十九號布告同年十二月發行
- 一四錢角封皮(淡紅色) 明治七年二月第二十四號布告同年四月發行
- 一貳錢長封皮(黃色) 明治六年十一月第三百八十九號布告同年十二月發行
- 一貳錢長封皮(黃色) 明治七年二月第二十四號布告同年四月發行
- 一四錢長封皮(淡紅色) 明治六年十一月第三百八十九號布告同年十二月發行
- 一四錢長封皮(淡紅色) 明治七年二月第二十四號布告同年四月發行
- 一六錢長封皮(栗色) 明治六年十一月第三百八十九號布告同年十二月發行
- 一六錢長封皮(栗色) 明治七年二月第二十四號布告同年四月發行
- 一半錢葉書 表橙黃色 裏赤色 明治六年十一月第三百八十九號布告同年十二月發行
- 一半錢葉書 表橙黃色 裏赤色 明治六年十二月發行

- 一半錢葉書 表橙黃色 裏赤色 明治七年二月第二十四號布告同年四月發行
- 一半錢葉書(橙黃色) 明治八年五月第八十一號布告同年同月發行
- 一壹錢葉書 表輪廓紅色印面 青色裏赤色 明治六年十一月第三百八十九號布告同年十二月發行
- 一壹錢葉書 表青色 裏赤色 明治六年十二月發行
- 一壹錢葉書 表青色 裏赤色 明治七年二月第二十四號布告同年四月發行
- 一壹錢葉書(青色) 明治八年五月第八十一號布告同年同月發行

○正誤
 本年十月三日告示第四十八號中 宜理郡逢隈村ノ内上郡トアルハ吉田村ノ内長瀨ノ誤 牡鹿郡石巻町ノ内大街道及後町トアルハ衍

明治二十二年十一月十六日出版御届

宮城縣庶務課

